

学校コード F117110105393

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

**事前相談**

注2

金沢大学

融合学域

観光デザイン学類

## 【事前相談】 設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

国立大学法人金沢大学

令和5年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名	企画評価室
職名・氏名	センモツヨクインコジマ オオト 専門職員 小島 直人
電話番号	076-264-5020
（夜間）	076-264-5020
e-mail	g1kikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

## 融合学域

＜観光デザイン学類＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	22
6. 附帯事項等に対する履行状況等	48
7. その他全般的事項	50

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人金沢大学

## (2) 大学名

金沢大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒920-1192  
石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ワダ タカシ) 和田 隆志 (令和4年4月)		
学部長	(オオタケ シゲキ) 大竹 茂樹 (令和3年4月)		
学科長等	(サムタ ヒカル) 佐無田 光 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)  
令和5年度に報告する内容 → (5)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。  
 ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
融合学域 観光デザイン学類 学士(学術)	社会学・社会福祉学関係	4年	20人	2年次 15人 3年次 15人 4年次 0人	110人	-	(変更前的人数 15人。令和5年度)

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	1.17倍	-	1.17倍	-	「理系一括」及び「文系一括」入試は、按分して計上している。
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]					
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]					
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]					
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]					
入学定員超過率 B/A													1.20	1.15			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 編入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。  
 ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。  
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。  
 ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。  
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	16 -	- -	21 -	- -	2年次在学者の異動前の所属内訳は、総合教育部2名。
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- -	- -	18 -	- -	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	- -	- -	- -	- -	
4年次	/		/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	- -	- -	- -	- -	
計	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	16 ( - )	- ( - )	39 ( - )	- ( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、**留学生の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	(記入例) 就学意欲の低下(5人)、他の教育機関への転学(2名) [就職(1人)、除籍(2人)]
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	16人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
令和5年度	39人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{39} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<融合学域 観光デザイン学類>

(1) - ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置				実 任 ・ 兼 担				
			必 修	選 択	自 由	特 修	教 員	准 教 員	助 教	助 手					
共通 教育 科目	導入 科目	大学・社会生活論 データサイエンス基礎 地域概論 小計(3科目)	1① 1① 1② —	1 1 1 3	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	0 1 0 0	0 1 0 0	0 0 1 2					
	GS 科目	ち1位 置へ 自己 の立 ち	現代世界への歴史学的アプローチ グローバル時代の政治経済学 グローバル時代の社会学 ケーススタディによる応用倫理学 地球生物圏と人間	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1		1 1 1 1 1			1 1 1 1 1					
		るり2 群 自己 を 知 る を 知 る を 知 る	哲学(自我論) パーソナリティ心理学 グローバル時代の文学 健康科学 細胞・分子生物学 エクササイズ&スポーツ実技	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1 1		1 1 1 1 2 2			1 1 1 1 2 2					
	るをえ 3 群 表現 を 知 る	クリエイティブシンキング 価値と情動の認知科学 芸術と自己表現 スポーツ科学	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1		1 1 1 1			1 1 1 1						
GS 科目 (英語)	4 群 (世界 と つ な が る)	金沢・能登と世界の地域文化 日本史・日本文化 異文化間コミュニケーション 異文化体験A 異文化体験B 異文化体験C 異文化体験D 異文化体験E 異文化体験F 異文化体験G 異文化体験H グローバル時代の国際協力 グローバル社会と地域の課題	1②・③・④ 1②・③・④ 1①・②・③・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 2 3 4 5 6 7 8 1 1		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				1 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					
		5 に 取 り 組 む の 課 題	科学技術と科学方法論 統計学から未来を見る 環境学とESD 生活と社会保障 現代社会と人権	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1		1 1 1 1 1				1 1 1 1 1				
			会 6 群 を 知 る を 知 る	インテグレート科学 AI入門 情報の科学 デザイン思考入門 論理学と数学の基礎	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1		1 1 1 2 1			1 1 1 2 1				
				小計(38科目)	—	0	66	0	0	1	0	0	0	33	
			GS 科目 (英語)	TOEIC準備 I TOEIC準備 II TOEIC準備 III TOEIC準備 IV TOEIC準備(演習) English for Academic Purposes I English for Academic Purposes II English for Academic Purposes III English for Academic Purposes IV English for Academic Purposes (Retake)	1① 1② 1③ 1④ 2①・②・③・④ 1① 1② 1③ 1④ 2①・②・③・④	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1 1 1 1 1 1 1 1 1				1 1 1 1 1 1 1 1 1		
				GS 科目 (日本語)	アカデミック基礎日本語A アカデミック基礎日本語B 講義の聴解A 講義の聴解B 口頭発表A 口頭発表B 上級読解 I A 上級読解 I B 上級読解 II A 上級読解 II B 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B 日本事情A 日本事情B アカデミック・ライティングA アカデミック・ライティングB 小計(26科目)	1① 1② 1①・③ 1②・④ 1①・③ 1②・④ 1① 1② 1③ 1④ 1①・③ 1②・④ 1①・③ 1②・④ 1①・③ 1②・④ —	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 8	
					基 礎 科 目	微分積分学IA 微分積分学IB 微分積分学IIA 微分積分学IIB 線形代数学IA 線形代数学IB 線形代数学IIA 線形代数学IIB 物理学IA 物理学IB 物理学IIA 物理学IIB 化学IA	1① 1② 1③ 1④ 1① 1② 1③ 1④ 1① 1② 1③ 1④ 1①	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置				実 任 ・ 兼 担				
			必 修	選 択	自 由	特 修	教 員	准 教 員	助 教	助 手					
共通 教育 科目	導入 科目	大学・社会生活論 データサイエンス基礎 地域概論 小計(3科目)	1① 1① 1② —	1 1 1 3	0 0 0 0	0 0 0 0	1 1 1 1	0 1 0 0	0 0 1 0	0 1 1 3					
	GS 科目	ち1位 置へ 自己 の立 ち	現代世界への歴史学的アプローチ グローバル時代の政治経済学 グローバル時代の社会学 ケーススタディによる応用倫理学 地球生物圏と人間	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1		1 1 1 1 1			1 1 1 1 1					
		るり2 群 自己 を 知 る を 知 る	哲学(自我論) パーソナリティ心理学 グローバル時代の文学 健康科学 細胞・分子生物学 エクササイズ&スポーツ実技	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1 1		1 1 1 1 2 2			1 1 1 1 2 2					
	るをえ 3 群 表現 を 知 る	クリエイティブシンキング 価値と情動の認知科学 芸術と自己表現 スポーツ科学	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1		1 1 1 1			1 1 1 1						
GS 科目 (英語)	4 群 (世界 と つ な が る)	<b>地域社会と文化人類学</b> 日本史・日本文化 異文化間コミュニケーション 異文化体験A 異文化体験B 異文化体験C 異文化体験D 異文化体験E 異文化体験F 異文化体験G 異文化体験H グローバル時代の国際協力 グローバル社会と地域の課題	1②・③・④・ 1②・③・④・ 1①・②・③・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 2 3 4 5 6 7 8 1 1		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				1 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					
		5 に 取 り 組 む の 課 題	科学技術と科学方法論 統計学から未来を見る 環境学とESD 生活と社会保障 現代社会と人権	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1		1 1 1 1 1				1 1 1 1 1				
			会 6 群 を 知 る を 知 る	インテグレート科学 AI入門 情報の科学 デザイン思考入門 論理学と数学の基礎	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1		1 1 1 2 1			1 1 1 2 1				
				小計(38科目)	—	0	66	0	0	1	0	0	0	34	
			GS 科目 (英語)	TOEIC準備 I TOEIC準備 II TOEIC準備 III TOEIC準備 IV TOEIC準備(演習) English for Academic Purposes I English for Academic Purposes II English for Academic Purposes III English for Academic Purposes IV English for Academic Purposes (Retake)	1① 1② 1③ 1④ 2①・②・③・④ 1① 1② 1③ 1④ 2①・②・③・④	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1 1 1 1 1 1 1 1 1				1 1 1 1 1 1 1 1 1		
				GS 科目 (日本語)	アカデミック基礎日本語A アカデミック基礎日本語B 講義の聴解A 講義の聴解B 口頭発表A 口頭発表B 上級読解 I A 上級読解 I B 上級読解 II A 上級読解 II B 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B 日本事情A 日本事情B アカデミック・ライティングA アカデミック・ライティングB 小計(26科目)	1① 1② 1①・③ 1②・④ 1①・③ 1②・④ 1① 1② 1③ 1④ 1①・③ 1②・④ 1①・③ 1②・④ 1①・③ 1②・④ —	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 9	
					基 礎 科 目	微分積分学IA 微分積分学IB 微分積分学IIA 微分積分学IIB 線形代数学IA 線形代数学IB 線形代数学IIA 線形代数学IIB 物理学IA 物理学IB 物理学IIA 物理学IIB 化学IA	1① 1② 1③ 1④ 1① 1② 1③ 1④ 1① 1② 1③ 1④ 1①	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1









科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	単位	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	観光地経営論	2③	1			1							
	地域観光政策論	2④	1			1							1
	環境と観光	2④	1			1							
	観光開発・計画論	2④	1			1							
	地域社会学	2④	1			1							
	景観デザイン学	3①	1			1							
	工業デザイン	3①	1			1							1
	イベント経営論	3①	1			1							1
	地域マネジメント論	3①	1			1							1
	コミュニティ・デザイン論	3①	1			1							
	リノベーション論	3②	1			1							1
	社会システム工学	3②	1			1							
	都市計画	3②	1			1							
	ソーシャル・ビジネス論	3②	1			1							1
	パブリックスペース論	3②	1			1							
	計画プロセス	3③	1			1							
	観光社会学	3③	1			1							1
	地域居住論	3④	1			1							1
	ホスピタリティ・マネジメント	3④	1			1							1
	小計(57科目)	—	0	62	0	8	5	0	3	0	0	21	
	鍛錬科目	観光ビジネス実践A	3①~④	1			1						
観光ビジネス実践B		3①~④	2			1							
観光ビジネス実践C		3①~④	4			1							
観光実践留学A		3①~④	1			1							
観光実践留学B		3①~④	2			1							
観光実践留学C		3①~④	4			1							
国際インターンシップA		3①~④	1			1							
国際インターンシップB		3①~④	2			1							
国際インターンシップC		3①~④	4			1							
小計(9科目)	—	0	21	0	2	1	0	0	0	0	0		
確立科目	融合研究	4①~④	8			1							
	融合演習	4①~④	8			1							
	融合試験	4①~④	8			1							1
小計(3科目)	—	0	24	0	1	2	0	0	0	0	0		
合計(336科目)	—	28	392	0	9	5	0	3	0	0	104		
卒業要件及び履修方法													
以下の要件を満たし、合計124単位以上(融合試験履修者は130単位以上)を修得した者。 *共通教育科目において導入科目から3単位、GS科目に配置する1群から5群の各群から2単位以上、6群から3単位を含む計15単位、GS言語科目から8単位(日本人学生の場合は日本語を除く必修8単位、留学生の場合は日本語の必修2単位を含む8単位)、基礎科目又は初習言語科目(1言語)から8単位を定め、計36単位以上を修得。 +専門教育科目において学域GS科目8単位、学域GS言語科目2単位、実践科目から必修5単位を含め13単位、基礎科目から必修2単位を含め19単位、学知科目から26単位(同一のコアエリアから13単位以上、かつ、異なる2コアエリアから各1単位以上を含む)、鍛錬科目から4単位、確立科目から8単位を含め、計88単位以上(融合試験履修者は94単位以上)を修得。													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	単位	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	観光地経営論	2③	1			1							
	地域観光政策論	2④	1			1							1
	環境と観光	2④	1			1							
	観光開発・計画論	2④	1			1							
	地域社会学	2④	1			1							1
	景観デザイン学	3①	1			1							
	工業デザイン	3①	1			1							1
	イベント経営論	3①	1			1							1
	地域マネジメント論	3①	1			1							1
	コミュニティ・デザイン論	3①	1			1							
	リノベーション論	3②	1			1							1
	社会システム工学	3②	1			1							
	都市計画	3②	1			1							
	ソーシャル・ビジネス論	3②	2			1							1
	パブリックスペース論	3②	1			1							
	計画プロセス	3③	1			1							
	観光社会学	3③	1			1							1
	地域居住論	3④	1			1							1
	ホスピタリティ・マネジメント	3④	1			1							1
	小計(57科目)	—	0	65	0	7	5	0	3	0	0	24	
	鍛錬科目	観光ビジネス実践A	3①~④	1			1						
観光ビジネス実践B		3①~④	2			1							
観光ビジネス実践C		3①~④	4			1							
観光実践留学A		3①~④	1			1							
観光実践留学B		3①~④	2			1							
観光実践留学C		3①~④	4			1							
国際インターンシップA		3①~④	1			1							
国際インターンシップB		3①~④	2			1							
国際インターンシップC		3①~④	4			1							
小計(9科目)	—	0	21	0	2	1	0	0	0	0	—		
確立科目	融合研究	4①~④	8			1							
	融合演習	4①~④	8			1							
	融合試験	4①~④	8			1							1
小計(3科目)	—	0	24	0	0	2	0	0	0	0	1		
合計(350科目)	—	28	406	0	8	5	0	3	0	0	117		
卒業要件及び履修方法													
以下の要件を満たし、合計124単位以上(融合試験履修者は130単位以上)を修得した者。 *共通教育科目において導入科目から3単位、GS科目に配置する1群から5群の各群から2単位以上、6群から3単位を含む計15単位、GS言語科目から8単位(日本人学生の場合は日本語を除く必修8単位、留学生の場合は日本語の必修2単位を含む8単位)、基礎科目又は初習言語科目(1言語)から8単位を定め、計36単位以上を修得。 +専門教育科目において学域GS科目8単位、学域GS言語科目2単位、実践科目から必修5単位を含め13単位、基礎科目から必修2単位を含め19単位、学知科目から26単位(同一のコアエリアから13単位以上、かつ、異なる2コアエリアから各1単位以上を含む)、鍛錬科目から4単位、確立科目から8単位を含め、計88単位以上(融合試験履修者は94単位以上)を修得。													

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・ 兼担					
			必修	選択	自由	教 育 単 位	講 義 単 位	助 教 単 位	助 手 単 位	他						
												修	取	由	授	授
共通教育科目  GS科目	導入科目 大学・社会生活論 データサイエンス基礎 地域概論	1① 1① 1②	1 1 1				1 1 1					1 1 2				
	小計(3科目)	—	3	0	0	0	1	0	1	0	2					
	1 位 置 を 自 己 の 立 ち 場 と し て 考 え 知 る	現代世界への歴史的アプローチ グローバル時代の政治経済学 グローバル時代の社会学 ケーススタディによる応用倫理学 地球生物圏と人間	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1				1 1 1 1 1				1 1 1 1 1				
		2 位 置 を 自 己 の 立 ち 場 と し て 考 え 知 る	哲学(自我論) パーソナリティ心理学 グローバル時代の文学 健康科学 細胞・分子生物学 エクササイズ&スポーツ実技	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1 1							1 1 1 1 2 1				
			3 位 置 を 自 己 の 立 ち 場 と し て 考 え 知 る	クリティカル・シンキング 価値と情動の認知科学 芸術と自己表現 スポーツ科学	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1							1 1 1 1			
	4 位 置 を 自 己 の 立 ち 場 と し て 考 え 知 る	金沢・能登と世界の地域文化 日本史・日本文化 異文化間コミュニケーション 異文化体験A 異文化体験B 異文化体験C 異文化体験D 異文化体験E 異文化体験F 異文化体験G 異文化体験H グローバル時代の国際協力 グローバル社会と地域の課題	1②・③・④ 1②・③・④ 1①・②・③・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1②・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 2 3 4 5 6 7 8 1 1								1 3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
		5 位 置 を 自 己 の 立 ち 場 と し て 考 え 知 る	科学技術と科学方法論 統計学から未来を見る 環境学とESD 生活と社会保障 現代社会と人権	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1								1 1 1 1 1			
			6 位 置 を 自 己 の 立 ち 場 と し て 考 え 知 る	インテグレート科学 AI入門 情報の科学 デザイン思考入門 論理学と数学の基礎	1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④ 1①・②・③・④	1 1 1 1 1							1 1 1 2 1			
				小計(38科目)	—	0	66	0	0	1	0	0	0	34		
				GS 語 言 科 目 (英 語)	TOEIC準備Ⅰ TOEIC準備Ⅱ TOEIC準備Ⅲ TOEIC準備Ⅳ TOEIC準備(演習) English for Academic PurposesⅠ English for Academic PurposesⅡ English for Academic PurposesⅢ English for Academic PurposesⅣ English for Academic Purposes(Retake)	1① 1② 1③ 1④ 2①・②・③・④ 1① 1② 1③ 1④ 2①・②・③・④	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
		GS 日 本 語 科 目			アカデミック基礎日本語A アカデミック基礎日本語B 講義の聴解A 講義の聴解B 口頭発表A 口頭発表B 上級読解ⅠA 上級読解ⅠB 上級読解ⅡA 上級読解ⅡB 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B 日本事情A 日本事情B アカデミック・ライティングA アカデミック・ライティングB 小計(26科目)	1① 1② 1①・③ 1②・④ 1①・③ 1②・④ 1① 1② 1③ 1④ 1①・③ 1②・④ 1①・③ 1②・④ 1①・③ 1②・④	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 7
			基 礎 科 目		微分積分学ⅠA 微分積分学ⅠB 微分積分学ⅡA 微分積分学ⅡB 線形代数学ⅠA 線形代数学ⅠB 線形代数学ⅡA 線形代数学ⅡB 物理学ⅠA 物理学ⅠB 物理学ⅡA 物理学ⅡB 化学ⅠA 化学ⅠB 化学ⅡA 化学ⅡB 小計(16科目)	1① 1② 1③ 1④ 1① 1② 1③ 1④ 1① 1② 1③ 1④ 1① 1② 1③ 1④	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 3

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置					兼 任 来 担	
			必 修	自 由	教 授	准 教 授	講 義 員	助 教	助 手		
											0
共通 教育 科目	ドイツ語A1-1	1①・③	1								1
	ドイツ語A1-2	1②・④	1								1
	ドイツ語A2-1	1①・③	1								1
	ドイツ語A2-2	1②・④	1								1
	ドイツ語A3-1	1①・③	1								1
	ドイツ語A3-2	1②・④	1								1
	ドイツ語A4-1	1①・③	1								1
	ドイツ語A4-2	1②・④	1								1
	ドイツ語B-1	2①	1								1
	ドイツ語B-2	2②	1								1
	ドイツ語C-1	2①・③	1								1
	ドイツ語C-2	2②・④	1								1
	フランス語A1-1	1①	1								1
	フランス語A1-2	1②	1								1
	フランス語A2-1	1①	1								1
	フランス語A2-2	1②	1								1
	フランス語A3-1	1③	1								1
	フランス語A3-2	1④	1								1
	フランス語A4-1	1③	1								1
	フランス語A4-2	1④	1								1
	フランス語B-1	2①・③	1								1
	フランス語B-2	2②・④	1								1
	フランス語C-1	2③	1								1
	フランス語C-2	2④	1								1
	ロシア語A1-1	1①	1								1
	ロシア語A1-2	1②	1								1
	ロシア語A2-1	1①	1								1
	ロシア語A2-2	1②	1								1
	ロシア語A3-1	1③	1								1
	ロシア語A3-2	1④	1								1
	ロシア語A4-1	1③	1								1
	ロシア語A4-2	1④	1								1
	ロシア語B-1	2①・③	1								1
	ロシア語B-2	2②・④	1								1
	ロシア語C-1	2①・③	1								1
	ロシア語C-2	2②・④	1								1
	中国語A1-1	1①	1								1
	中国語A1-2	1②	1								1
	中国語A2-1	1①	1								1
	中国語A2-2	1②	1								1
	中国語A3-1	1③	1								1
	中国語A3-2	1④	1								1
	中国語A4-1	1③	1								1
	中国語A4-2	1④	1								1
	中国語B-1	2①・③	1								1
	中国語B-2	2②・④	1								1
	中国語C-1	2③	1								1
	中国語C-2	2④	1								1
	朝鮮語A1-1	1①	1								1
	朝鮮語A1-2	1②	1								1
	朝鮮語A2-1	1①	1								1
	朝鮮語A2-2	1②	1								1
	朝鮮語A3-1	1③	1								1
	朝鮮語A3-2	1④	1								1
	朝鮮語A4-1	1③	1								1
	朝鮮語A4-2	1④	1								1
	朝鮮語B-1	2①・③	1								1
	朝鮮語B-2	2②・④	1								1
	朝鮮語C-1	2①・③	1								1
	朝鮮語C-2	2②・④	1								1
	スペイン語A1-1	1①	1								1
	スペイン語A1-2	1②	1								1
	スペイン語A2-1	1①	1								1
	スペイン語A2-2	1②	1								1
	スペイン語A3-1	1③	1								1
	スペイン語A3-2	1④	1								1
	スペイン語A4-1	1③	1								1
	スペイン語A4-2	1④	1								1
	スペイン語B-1	2①	1								1
	スペイン語B-2	2②	1								1
	スペイン語C-1	2③	1								1
	スペイン語C-2	2④	1								1
	日本語A1-1	1①	1	1		1					
	日本語A1-2	1②	1	1		1					
	日本語A2-1	1①	1	1		1					
	日本語A2-2	1②	1	1		1					
	日本語A3-1	1③	1	1		1					
	日本語A3-2	1④	1	1		1					
	日本語A4-1	1③	1	1		1					
	日本語A4-2	1④	1	1		1					
小計(80科目)		—	0	80	0	1	0	0	0	0	8

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任 単 位 数	
			必修 単 位	選択 単 位	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
共通 教育 科目	石川県の行政	1③～④		2								1
	石川県の市町	1①～②		2								1
	健康論実践D	1④		1								1
	健康論実践E	1④		1								1
	現代社会における保険の制度と役割Ⅰ	1③		1								1
	現代社会における保険の制度と役割Ⅱ	1④		1								1
	クラウド時代の「ものグラミング」概論	1③～④		2								1
	シェルスクリプト言語論1	1①～②		2								1
	シェルスクリプト言語論2	1③～④		2								1
	地元学A(地域資源調査)	1①		1								1
	地元学B(聞き書き)	1②		1								1
	シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習	1①		1								1
	イノベーションを起こして、起業家になろう1	1①		1								1
	イノベーションを起こして、起業家になろう2	1②		1								1
	イノベーションを起こして、起業家になろう3	1③		1								1
	イノベーションを起こして、起業家になろう4	1④		1								1
	香りと日本文化	1③		1								1
	心と体の健康A	1③		1								1
	心と体の健康B	1④		1								1
	未来デザインプラクティス	1①・②・④		1								1
	道徳教育および宗教教育をグローバルに考える	1④		1								1
	金沢の歴史と文化	1③～④		2								1
	日本の伝統芸能	1②		1								1
	地域創造学特別講義C	1③		1								1
	地域創造学特別講義D	1④		1								1
	日本国憲法概説	1③		2								1
	日本史要説	2①～②		2								1
	東洋史要説	2③～④		2								1
	ソーシャルビジネス概論	1①		1								1
	行政学の基礎	1①		2								1
	ゼミ/角間の里山づくり 春編	1①		1								1
	ゼミ/角間の里山づくり 秋編	1③		1								1
	コーヒーと社会	1③		1								1
	コーヒーと科学	1④		1								1
	鑑賞・地域活性化演習Ⅰ	1②		1								1
	鑑賞・地域活性化演習Ⅱ	1②		1								1
	地学実験	1②～③		2								1
	生物学実験	1①～②		2								1
	海洋生化学演習	1①		2								1
	地域のトップリーダーを築くⅠ	1①		1								1
	地域のトップリーダーを築くⅡ	1②		1								1
	ローカルキャリアデザインⅠ	1②		1								1
	ローカルキャリアデザインⅡ	1③		1								1
	環境動態学概説Ⅰ	1③		1								1
	環境動態学概説Ⅱ	1④		1								1
	Pythonデータ分析入門	1②		1								1
	プレゼンテーション演習A	1③		1								1
	プレゼンテーション演習B	1④		1								1
	コンピュータグラフィクス演習Ⅰ	1③		1								1
	コンピュータグラフィクス演習Ⅱ	1④		1								1
動画配信サービスを用いた情報発信演習A	1①		1								1	
動画配信サービスを用いた情報発信演習B	1②		1								1	
Society5.0概論A	1①		1								1	
Society5.0概論B	1②		1								1	
英語セミナー	1①・②・③・④		1								1	
ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界1	1③		1								1	
ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界2	1④		1								1	
ドイツ語A(充実クラスⅠ-1)	1③		1								1	
ドイツ語A(充実クラスⅠ-2)	1④		1								1	
ドイツ語A(充実クラスⅡ-1)	1③		1								1	
ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)	1④		1								1	
フランス語A(充実クラスⅠ-1)	1③		1								1	
フランス語A(充実クラスⅠ-2)	1④		1								1	
フランス語A(充実クラスⅡ-1)	1③		1								1	
フランス語A(充実クラスⅡ-2)	1④		1								1	
中国語A(充実クラスⅠ-1)	1③		1								1	
中国語A(充実クラスⅠ-2)	1④		1								1	
小計(87科目)	—		0	80	0	0	0	0	0	0	0	33
共通教育科目計(220科目)	—		13	258	0	1	2	0	1	0	0	80
専 門 教 育 科 目	アカデミックスキル	1①	1			1	2					
	プレゼン・ディベート論	1②	1			1	2					
	イノベーション基礎	1③	1						1			1
	数理・データサイエンス基礎及び演習	1③	2									1
	デザイン思考	1④	1									2
小計(5科目)	—		6	0	0	1	2	0	1	0	4	
富 学 語 域 科 目 S	学域GS言語科目Ⅰ/海外実践英語	2①・②	1									1
	学域GS言語科目Ⅱ/時事・学術英語	3①・②	1									1
	小計(2科目)	—		2	0	0	0	0	0	0	0	1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任 単 位		
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 手			
専門 教育 科目	実 践 科 目	アントレプレナー基礎	1①	1		1					1	
		アントレプレナー演習Ⅰ	2①	1		1					1	
		アントレプレナー演習Ⅱ	2②	1		1					1	
		観光DX・PBL演習Ⅰ	2③	1							1	
		観光DX・PBL演習Ⅱ	2④	1							1	
		観光調査法	2②		1				1			
		ワークショップデザイン演習	2②		2		1					
		観光データ解析演習	2③		1				2			
		形態・色彩デザイン論	2③		1						1	
		ビジネスプラン作成演習	2③		1		1					
		地理情報システム演習	2④		1						1	
		プログラミングスキル	2④		1		1					
		アプリ開発	3②		1		1					
		創生インターンシップ	2③・④		1			1				
		観光プロジェクト演習Ⅰ	2①～②		1		9	5				
		観光プロジェクト演習Ⅱ	2③～④		1		9	5				
	観光プロジェクト演習Ⅲ	3①～②		1		9	5					
	観光プロジェクト演習Ⅳ	3③～④		1		9	5					
	小計(16科目)	—		5	14	0	9	5	0	2	0	4
	基 盤 科 目	ホスピタリティ概論	1④		1							1
		ファイナンス基礎	1④		1		1					
		テクノロジー基礎	1④		1							5
		観光デザイン学基礎	2①		2		4	3		3		3
		世界変革技術論	2①		1				1			2
人工知能		2①		1							1	
フィンテック基礎とビジネス応用		2①		1		1						
マーケティング基礎		2①		1							1	
超スマートシティとSociety 5.0		2②		1		1					2	
観光倫理学		2②		1							1	
観光の公衆衛生学		2②		1		1						
観光法制度論		2②		1							1	
異文化理解とキャリア開発		2③		1							1	
SDGs基礎		2③		1							1	
数理統計学基礎		2③		1				1				
北陸観光産業論		2③		1			2					
日本の工芸とデザイン		2③		1		1						
金融工学		2③		1		1						
交流ネットワーク工学		2④		1							1	
ダイバーシティ促進		2④		1				1				
北陸の都市・農村・文化		2④		1							1	
北陸の農林水産・製造業		2④		1							1	
シェアリングエコノミー		2④		1		1						
観光地域ビジネス論		2④		1		1						
数理行動モデル基礎	2④		1				1					
小計(25科目)	—		2	24	0	5	4	0	3	0	15	
専門 科目	学 知 科 目	エンタテインメントマネジメント論	2③		1							1
		SDGs実践	2④		1							1
		文化観光論	2④		1							1
		文化と消費社会	2④		1							1
		持続的な観光	3①		1		1					
		伝統文化変容論	3①		1							1
		比較地域発展論	3①		1							1
		グローバルブランディング論	3①		1		1					
		ヘリテージ・インタープリテーション	3①		2		1					
		無形文化遺産論	3②		1		1					
		文化と地域経済	3②		1							1
		生活デザイン論	3②		1							1
		国際プロジェクトマネジメント・評価法	3②		1		1					
		自然観光論	3②		1							1
		観光資源開発論	3③		1		1					
		資源活用と環境共生	3③		2							1
		人間工学	3③		1							1
		観光資源マネジメント論	3④		1		1					
		実践ブランディング	3④		2							1
	関 係 デ ザ イ ン コ ア エ リ ア	IoT技術	2③		1							1
		データサイエンス実践	2④		1				1			
		行動経済学	2④		1		1					
		Web・クオミ社会動向分析	3①		1		1					
		観光データ解析応用	3①		1				2			
		観光産業DX発展	3①		1		1					
		情報政策論	3①		2							1
		グローバル・アクセシビリティ論	3②		1		1					
		都市・交通デザイン	3②		1							1
		時空間データ解析	3②		1							1
		知的財産法	3②		2							1
		統計的意思決定論	3②		2							1
		交通工学	3③		1							1
		観光VR・XR	3③		1		1					
		国際メディア分析論	3③		1		1					
国際コンフリクト・マネジメント	3③		1		1							
ブランニング最適化	3③		1							1		
データベース論	3③		1							1		
【移動及び科目名変更】												
需要予測	3④		1					1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任 単担		
			必修 単 位	選択 単 位	自由 単 位	准 教 員	講 師	助 教	助 手			
専門 教育 科目	観光地経営論	2③	1			1						
	地域観光政策論	2④	1							1		
	環境と観光	2④	1			1						
	観光開発・計画論	2④	1			1						
	地域社会学	2④	1			1						
	景観デザイン学	3①	1			1						
	工業デザイン	3①	1							1		
	イベント経営論	3①	1							1		
	地域マネジメント論	3①	1							1		
	コミュニティ・デザイン論	3①	1			1						
	リノベーション論	3②	1							1		
	社会システム工学	3②	1			1						
	都市計画	3②	1			1						
	ソーシャル・ビジネス論	3②	2								1	
	パブリックスペース論	3②	1			1						
	計画プロセス	3③	1			1						
	観光社会学	3③	1			1						
	地域居住論	3④	1								1	
	ホスピタリティ・マネジメント	3④	1								1	
	小計(57科目)	—	0	64	0	8	5	0	3	0	21	
	縦 練 科目	観光ビジネス実践A	3①~④	1			1					
		観光ビジネス実践B	3①~④	2			1					
		観光ビジネス実践C	3①~④	4			1					
		観光実践留学A	3①~④	1			1					
		観光実践留学B	3①~④	2			1					
		観光実践留学C	3①~④	4			1					
		国際インターンシップA	3①~④	1			1					
国際インターンシップB		3①~④	2			1						
国際インターンシップC		3①~④	4			1						
小計(9科目)	—	0	21	0	2	1	0	0	0	—		
確 立 科 目	融合研究	4①~④	8			1						
	融合演習	4①~④	8			1						
	融合試験	4①~④	8			1						
小計(3科目)	—	0	24	0	1	2	0	0	0	—		
合計(349科目)	—	28	405	0	9	5	0	3	0	108		

卒業要件及び履修方法

以下の要件を満たし、合計124単位以上(融合試験履修者は130単位以上)を修得した者。  
 ・共通教育科目において導入科目から3単位、GS科目に配置する1群から5群の各群から2単位以上、6群から3単位を含む計15単位、GS言語科目から8単位(日本人学生の場合は日本語を除く必修8単位、留学生の場合は日本語の必修2単位を含む8単位)、基礎科目又は初習言語科目(1言語)から8単位を含め、計36単位以上を修得。  
 ・専門教育科目において学域GS科目6単位、学域GS言語科目2単位、実践科目から必修5単位を含め13単位、基盤科目から必修2単位を含め19単位、学知科目から26単位(同一のコアエリアから13単位以上、かつ、残る2コアエリアから各1単位以上を含む)、縦練科目から4単位、確立科目から8単位を含め、計88単位以上(融合試験履修者は94単位以上)を修得。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各種の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。



(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・共通教育科目の見直しにより、「異文化間コミュニケーション」の教員配置を兼任1から兼任2に変更。
- ・専門教育科目の見直しにより、授業科目に「観光DMX・PBL演習Ⅰ」、「観光DMX・PBL演習Ⅱ」、「北陸の農林水産・製造業」を追加。
- ・専門教育科目の見直しにより、「観光DMX」の科目名称を「観光産業DMX発展」に変更し、配当年次を「3年4Q」から「3年1Q」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「デザイン思考」を「1年4Q」から「1年2Q」に変更。
- ・配当年次の見直しのため、「行動経済学」を「2年4Q」から「2年3Q」に変更。
- ・単位数の見直しのため、「アントレプレナー演習Ⅰ」及び「アントレプレナー演習Ⅱ」の単位数を「2単位」から「1単位」に変更。
- ・単位数の見直しのため、「資源活用と環境共生」の単位数を「1単位」から「2単位」に変更。
- ・単位数の見直しのため、「ソーシャル・ビジネス論」の単位数を「1単位」から「2単位」に変更。

【令和5年度】

- ＜共通教育科目＞
- ・授業実施に係る変更のため、「データサイエンス基礎」の教員配置を助教1から兼任1に変更。
  - ・共通教育科目の見直しのため、「健康科学」の教員配置を、教授1から准教授1に変更。
  - ・共通教育科目の見直しのため、「金沢・能登と世界の地域文化」を「地域社会と文化人類学」に変更。
  - ・共通教育科目の見直しのため、「地元学A（地域資源調査）」を「キャリアデザインコーティング」に変更。
  - ・共通教育科目の見直しのため、「地元学B（聞き書き）」を「地域協創のアンテナ」に変更。
  - ・共通教育科目の見直しのため、「シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習」を「シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習A」に変更し、開講期を「1①」から「1②」に変更。
  - ・共通教育科目の見直しのため、「シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習B」、「石川未来プロジェクトⅠ」及び「石川未来プロジェクトⅡ」を新設。
  - ・共通教育科目の見直しのため、「イノベーションを起こして、起業家になろう1」の教員配置を、教授1から兼任1に変更。
  - ・共通教育科目の見直しのため、「イノベーションを起こして、起業家になろう1」及び「審りと日本文化」を廃止。
  - ・共通教育科目の見直しのため、「地域創造特別講義C」を「地域想像プロジェクト講義C」に変更。
  - ・共通教育科目の見直しのため、「地域創造特別講義D」を「社会実装から学ぶ循環経済」に変更し、開講期を「1④」から、「1②」に変更。
  - ・共通教育科目の見直しのため、「能登・地域活性化演習Ⅰ」を「能登・地域活性化演習」に変更。
  - ・共通教育科目の見直しのため、「能登・地域活性化演習Ⅱ」を「北陸地域デザイン学」に変更し、開講期を「1②」から「1③」に変更。
  - ・共通教育科目の見直しのため、「Pythonデータ分析入門」の開講期を「1②」から「1③」に変更。
  - ・共通教育科目の見直しのため、「動画配信サービスを用いた情報発信演習A」を「Unityゲーム開発演習」に変更。
  - ・共通教育科目の見直しのため、「動画配信サービスを用いた情報発信演習B」を「リアルタイムVFX演習」に変更。
  - ・共通教育科目の見直しのため、「Society5.0概論A」を「シェルスクリプトを用いた「大規模データ処理」演習A」に変更し、開講期を「1①」から「1②」に変更。
  - ・共通教育科目の見直しのため、「ゼミ/アプリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界1」を「文学創作実践」に変更。
- ＜専門教育科目＞
- ・配当年次の見直しのため、「プログラミングスキル」を「2年4Q」から「2年3Q」に変更。
  - ・配当年次の見直しのため、「北陸の農林水産・製造業」を「2年4Q」から「3年4Q」に変更。
  - ・配当年次の見直しのため、「観光の公衆衛生学」を「2年2Q」から「2年1Q」に変更。
  - ・配当年次の見直しのため、「SDG&基礎」を「2年3Q」から「2年2Q」に変更。
  - ・配当年次の見直しのため、「日本の工芸とデザイン」を「2年3Q」から「2年4Q」に変更。
  - ・配当年次の見直しのため、「ダイバーシティ促進」を「2年4Q」から「2年1Q」に変更。
  - ・配当年次の見直しのため、「文化と消費社会」を「2年4Q」から「2年1Q」に変更。
  - ・配当年次の見直しのため、「環境と観光」を「2年4Q」から「2年2Q」に変更。
  - ・配当年次の見直しのため、「コミュニティ・デザイン論」を「3年1Q」から「2年1Q」に変更。
  - ・授業実施に係る変更のため、「アカデミックスキル」の教員配置を教授1・准教授2から准教授1に変更。
  - ・授業実施に係る変更のため、「プレゼン・ディベート論」の教員配置を教授1・准教授2から助教1に変更。
  - ・授業実施に係る変更のため、「デザイン思考」の教員配置を兼任2から兼任3に変更。
  - ・授業実施に係る変更のため、「ワークショップデザイン演習」の教員配置を教授1から兼任1に変更。
  - ・授業実施に係る変更のため、「アントレプレナー演習Ⅰ」の教員配置を教授1・兼任1から准教授1・兼任1に変更。
  - ・授業実施に係る変更のため、「アントレプレナー演習Ⅱ」の教員配置を教授1・兼任1から准教授1・兼任1に変更。
  - ・授業実施に係る変更のため、「観光データ解析演習」の教員配置を助教2から助教1に変更。
  - ・授業実施に係る変更のため、「プログラミングスキル」の教員配置を教授1から兼任1に変更。
  - ・授業実施に係る変更のため、「アプリ開発」の教員配置を教授1から兼任1に変更。
  - ・授業実施に係る変更のため、「創生インターンシップ」の教員配置を准教授1から助教1・兼任1に変更。
  - ・授業実施に係る変更のため、「ダイバーシティ促進」の教員配置を助教1から助教1・兼任1に変更。
  - ・授業実施に係る変更のため、「シェアリングエコノミー」の教員配置を教授1から兼任1に変更。
  - ・授業実施に係る変更のため、「IoT技術」の教員配置を兼任1から兼任2に変更。
  - ・授業実施に係る変更のため、「地域社会学」の教員配置を教授1から兼任1に変更。
  - ・授業実施に係る変更のため、「観光社会学」の教員配置を教授1から兼任1に変更。
  - ・授業実施に係る変更のため、「融合試験」の教員配置を教授1から兼任1に変更。
  - ・担当教員の異動に伴い、「観光プロジェクト演習Ⅰ～Ⅳ」の教員配置を教授9・准教授5から教授7・准教授5・兼任1へ変更。
  - ・担当教員の異動に伴い、「観光デザイン学基礎」の教員配置を教授4・准教授3・助教3・兼任3から教授2・准教授3・助教3・兼任4へ変更。
  - ・担当教員の異動に伴い、「日本の工芸とデザイン」の教員配置を教授1から兼任1・兼任1へ変更。
  - ・担当教員の異動に伴い、「グローバルブランディング論」の教員配置を教授1から兼任1へ変更。
  - ・担当教員の異動に伴い、「Web・クテコミ社会動向分析」の教員配置を教授1から兼任1へ変更。
  - ・担当教員の異動に伴い、「国際メディア分析論」の教員配置を教授1から兼任1へ変更。
  - ・担当教員の異動に伴い、「国際コンフリクト・マネジメント」の教員配置を教授1から兼任1へ変更。

(注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。  
 ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
24 科目	312 科目	0 科目	336 科目	26 科目 [ 2 ]	324 科目 [ 12 ]	0 科目 [ 0 ]	350 科目 [ 14 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	アントレプレナーシップⅠ	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
2	実践アントレプレナー学	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
3	異文化理解のためのビデオ会議ディスカッション	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
4	英国諸島の地史Ⅰ	1	1②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
5	英国諸島の地史Ⅱ	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
6	プログラミング演習Ⅰ	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
7	プログラミング演習Ⅱ	1	1④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
8	イノベーションを起こして、起業家になろう4	1	1④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
9	香りと日本文化	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

共通教育科目は、毎年、教育内容や教育効果について検討しブラッシュアップを行っている。適宜、新設科目を設けているため、学生に影響はないと考える。  
学生に対しては、毎年、授業開始前にWebや掲示等を通じて開講科目を周知しているため、問題ない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{9}{336} = \boxed{2.67} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 センター新設のため (5)		
	校舎敷地	728,946 m <sup>2</sup> <del>730,408 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	728,946 m <sup>2</sup> <del>730,408 m<sup>2</sup></del>			
	運動場用地	115,740 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	115,740 m <sup>2</sup>			
	小 計	844,686 m <sup>2</sup> <del>846,148 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	844,686 m <sup>2</sup> <del>846,148 m<sup>2</sup></del>			
	そ の 他	1,718,992 m <sup>2</sup> <del>1,717,530 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	1,718,992 m <sup>2</sup> <del>1,717,530 m<sup>2</sup></del>			
	合 計	2,563,678 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	2,563,678 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎	専 用	284,147 m <sup>2</sup> <del>284,135 m<sup>2</sup></del>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	284,147 m <sup>2</sup> <del>284,135 m<sup>2</sup></del>	大学全体 建物増築のため (4) 建物増築のため (5)		
	(284,147 m <sup>2</sup> ) <del>(284,135 m<sup>2</sup>)</del>	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	(284,147 m <sup>2</sup> ) <del>(284,135 m<sup>2</sup>)</del>				
(3) 教 室 等	講 義 室	183室 162室	演 習 室 307室 208室	実験実習室 946室 1,180室	情報処理学習施設 13室 11室 (補助職員 0人)	語学学習施設 6室 8室 (補助職員 0人)	大学全体 教室等用途変更・整理 のため (5)	
	新設学部等の名称			室 数				
(4) 専任教員研究室	融合学域 観光デザイン学類			15 17 室			専任教員2名退職のため (5)	
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位で特定不能のため、大学全体の数量 購入・廃棄等のため (4) 購入・廃棄等のため (5)
		冊	種	〔うち外国書〕				
	融合学域 観光デザイン学 類	1,932,498 [678,510]	34,666 [12,153]	10,710 [9,166]	8,376	10,104	212	
		<del>1,928,196 [680,849]</del>	<del>34,760 [12,152]</del>	<del>10,888 [9,388]</del>	<del>8,372</del>	<del>9,693</del>	373	
		1,914,343 [678,557]	35,708 [13,079]	10,744 [9,292]	8,336	8,986		
	計	1,932,498 [678,510]	34,666 [12,153]	10,710 [9,166]	8,376	10,104	212	
<del>1,928,196 [680,849]</del>		<del>34,760 [12,152]</del>	<del>10,888 [9,388]</del>	<del>8,372</del>	<del>9,693</del>	373		
1,914,343 [678,557]		35,708 [13,079]	10,744 [9,292]	8,336	8,986			
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	19,794m <sup>2</sup>		2,076 <del>2,194</del> 2,185		1,633,859 <del>1,640,536</del>			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	6,295 m <sup>2</sup>		可動屋根付プール (1,193 m <sup>2</sup> ) 弓 道 場 (162 m <sup>2</sup> )					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	金 沢 大 学										0	1	0	3
	平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	0	3	平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	0	3				
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考	
融合学域		95	3年次 25人	220		1.07	-	0.97	-			-		
先通学類	4	55	3年次 25人	190	学士(学術)	1.04	-	0.93	-	-	令和3	石川県金沢市角間町		
観光デザイン学類	4	20		35	学士(学術)	1.17	-	1.17	-	R5	令和4	同上	令和5年度入学定員変更(5)	
スマート創成科学類	4	20		20	学士(学術)	1.05	-	1.05	-	-	令和5	同上		
人間社会学域		668	3年次 5人	2769		1.02	-	1.09	1.02					
人文学類	4	138		562	学士(文学)	1.02	-	1.10	1.03	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(△4) 令和5年度入学定員変更(△3)	
法学類	4	150	3年次 5人	645	学士(法学)	1.00	-	1.05	1.00	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△4)	
経済学類	4	131		528	学士(経済学)	1.02	-	1.08	1.03	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△4)	
学校教育学類 共同教員養成課程	4	85		170	学士(教育学)	1.02	-	1.01	-	-	令和4	同上		
地域創造学類	4	83		349	学士(地域創造学)	1.02	-	1.08	1.02	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2) 令和5年度入学定員変更(△5)	
国際学類	4	81		330	学士(国際学)	1.02	-	1.19	1.04	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2) 令和5年度入学定員変更(△2)	
学校教育学類	4	-		-	学士(教育学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	令和4年度学生募集停止	
理工学域		579	3年次 40人	2471		1.02	1.02	1.07	1.02					
数物科学類	4	78	3年次 5人	338	学士(理学)	1.01	-	1.04	1.00	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(△2) 令和5年度入学定員変更(△4)	
物質化学類	4	78	3年次 4人	325	学士(理学・工学)	1.04	1.03	1.08	1.04	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△2) 令和5年度入学定員変更(△1)	
機械工学類	4	94	3年次 10人	408	学士(工学)	1.02	-	1.09	1.00	-	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△3) 令和5年度入学定員変更(△3)	
フロンティア工学類	4	103	3年次 5人	437	学士(工学)	1.02	-	1.06	1.01	-	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△3) 令和5年度入学定員変更(△4)	
電子情報通信学類	4	76	3年次 7人	312	学士(工学)	1.02	-	1.15	1.1	-	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△2) 令和5年度入学定員変更(△2)	
地球社会基盤学類	4	94	3年次 7人	404	学士(理学・工学)	1.02	-	1.06	1.01	-	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△2) 令和5年度入学定員変更(△4)	
生命理工学類	4	56	3年次 2人	235	学士(理学・工学)	1.02	-	1.03	1.01	-	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(△2) 令和5年度入学定員変更(△4)	
機械工学類(旧)	4	-		-	学士(工学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止	
電子情報科学類	4	-		-	学士(工学)	-	-	-	-	-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止	
医薬保健学域														
医学類	6	112	2年次 5人	697	学士(医学)	1.00	-	1.02	1.00	令和2 令和4	平成20	石川県金沢市宝町13-1	入学定員変更(12) ※臨時定員増継続	
薬学類	6	65		300	学士(薬学)	1.05	-	1.04	1.03	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(30)	
医薬科学類	4	18		54	学士(生命医科)	1.07	-	0.98	-	-	令和3	同上		
保健学類														
看護学専攻	4	79	3年次 4人	331	学士(看護学)	1.00	-	0.98	-	-	平成20	石川県金沢市小立野5-11-80	令和3年度入学定員変更(△1) 令和5年度編入学定員変更(△6)	
診療放射線技術専攻	4	40	3年次 3人	168	学士(保健学)	1.01	-	1.00	-	-	平成20	同上	令和5年度編入学定員変更(△2)	
検査技術科学専攻	4	40	3年次 3人	168	学士(保健学)	1.01	-	1.01	0.98	-	平成20	同上	令和5年度編入学定員変更(△2)	
理学療法学専攻	4	15	3年次 5人	75	学士(保健学)	1.09	-	0.97	-	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△5)	
作業療法学専攻	4	15	3年次 5人	75	学士(保健学)	1.05	-	0.92	-	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(△5)	
創薬科学類	4	-		-	学士(創薬科学)	-	-	-	-	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度学生募集停止	
大学全体	4	1726	2年次 3年次 4年次 5年次 合計	7393		-	-	-	-					

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、「記入する必要はありません。(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)」  
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。

- なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「－」としてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<融合学域 観光デザイン学類>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	眞鍋 知子 <令和4年4月> 博士(文学)
		ワークショップデザイン演習 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 地域社会学 観光社会学 融合試験
専	教授	堤 敦朗 <令和4年4月> 博士(保健学)・博士(医学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 観光の公衆衛生学 国際プロジェクトマネジメント・評価法 グローバル・アクセシビリティ論 観光実践留学A 観光実践留学B 観光実践留学C
専	教授	藤澤 美恵子 <令和4年4月> 博士(工学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ シェアリングエコノミー行動経済学 観光ビジネス実践A 観光ビジネス実践B 観光ビジネス実践C
専	教授	沈 振江 <令和4年4月> 博士(工学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 景観デザイン学 都市計画 計画プロセス
専	教授	西山 宣昭 <令和4年4月> 工学博士
		アプリ開発 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光DX

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	眞鍋 知子 <令和4年4月> 博士(文学)
		ワークショップデザイン演習 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 地域社会学 観光社会学 融合試験
専	教授	堤 敦朗 <令和4年4月> 博士(保健学)・博士(医学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 観光の公衆衛生学 国際プロジェクトマネジメント・評価法 グローバル・アクセシビリティ論 観光実践留学A 観光実践留学B 観光実践留学C
専	教授	藤澤 美恵子 <令和4年4月> 博士(工学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ シェアリングエコノミー行動経済学 観光ビジネス実践A 観光ビジネス実践B 観光ビジネス実践C
専	教授	沈 振江 <令和4年4月> 博士(工学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 景観デザイン学 都市計画 計画プロセス
専	教授	西山 宣昭 <令和4年4月> 工学博士
		アプリ開発 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光産業DX発展

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	眞鍋 知子 <令和4年4月> 博士(文学)
		アントレプレナー基礎 ワークショップデザイン演習 創生インターンシップ 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 観光社会学 融合試験
専	教授	堤 敦朗 <令和4年4月> 博士(保健学)・博士(医学)
		アントレプレナー基礎 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 観光の公衆衛生学 国際プロジェクトマネジメント・評価法 グローバル・アクセシビリティ論 観光実践留学A 観光実践留学B 観光実践留学C
専	教授	藤澤 美恵子 <令和4年4月> 博士(工学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 行動経済学 観光ビジネス実践A 観光ビジネス実践B 観光ビジネス実践C
専	教授	沈 振江 <令和4年4月> 博士(工学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 景観デザイン学 都市計画 計画プロセス
専	教授	西山 宣昭 <令和4年4月> 工学博士
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光産業DX発展



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 正英 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		プログラミングスキル 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光VR・XR
専	教授	松田 真希子 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		アカデミックスキ プレゼン・ディベート論 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 日本の工芸とデザイン グローバルブランディング論 Web・クチコミ社会動向分析 国際メディア分析論 国際コンフリクト・マネジメン ト
専	教授	松島 大輔 ＜令和4年4月＞ 博士(経営学)
		アントレプレナー基礎 アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ
専	教授	敷田 麻実 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		ビジネスプラン作成演習 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 観光地域ビジネス論 観光資源開発論 観光資源マネジメント論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 正英 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		プログラミングスキル 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光VR・XR
専	教授	松田 真希子 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		日本語A1-1 日本語A1-2 日本語A2-1 日本語A2-2 日本語A3-1 日本語A3-2 日本語A4-1 日本語A4-2 アカデミックスキ プレゼン・ディベート論 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 日本の工芸とデザイン グローバルブランディング論 Web・クチコミ社会動向分析 国際メディア分析論 国際コンフリクト・マネジメン ト
専	教授	松島 大輔 ＜令和4年4月＞ 博士(経営学)
		アントレプレナー基礎 アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ
専	教授	敷田 麻実 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		ビジネスプラン作成演習 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 観光地域ビジネス論 観光資源開発論 観光資源マネジメント論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 正英 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光VR・XR
兼任	講師	松田 真希子 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		日本の工芸とデザイン グローバルブランディング論 Web・クチコミ社会動向分析 国際メディア分析論 国際コンフリクト・マネジメン ト
専	教授	松島 大輔 ＜令和4年4月＞ 博士(経営学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ
専	教授	敷田 麻実 ＜令和5年10月＞ 博士(学術)
		ビジネスプラン作成演習 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 観光地域ビジネス論 観光資源開発論 観光資源マネジメント論
専	教授	清水 哲夫 ＜令和5年7月＞ 博士(工学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 時空間データ解析

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山田 菜緒子 <令和4年4月> Doctor of Philosophy (米国)
		大学・社会生活論 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 環境と観光 持続的な観光 ヘリテージ・インタープリテーション 国際インターンシップA 国際インターンシップB 国際インターンシップC
専	准教授	丸谷 耕太 <令和4年4月> 博士(工学)
		アカデミックスキル プレゼン・ディベート論 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 北陸観光産業論 コミュニティ・デザイン論 パブリックスペース論 融合演習
専	准教授	川澄 厚志 <令和4年4月> 博士(国際地域学)
		アカデミックスキル プレゼン・ディベート論 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 北陸観光産業論 観光地経営論 観光開発・計画論 融合研究
専	准教授	小高 敬寛 <令和4年4月> 博士(文学)
		現代世界への歴史学的アプローチ 創生インターンシップ 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 無形文化遺産論
専	准教授	松本 拓史 <令和4年4月> 博士(経営学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ ファイナンス基礎 フィンテック基礎とビジネス応用 超スマートシティとSociety 5.0 ※ 金融工学 社会システム工学
専	助教	山口 裕通 <令和4年4月> 博士(工学)
		観光デザイン学基礎※ 数理統計学基礎 データサイエンス実践

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山田 菜緒子 <令和4年4月> Doctor of Philosophy (米国)
		大学・社会生活論 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 環境と観光 持続的な観光 ヘリテージ・インタープリテーション 国際インターンシップA 国際インターンシップB 国際インターンシップC
専	准教授	丸谷 耕太 <令和4年4月> 博士(工学)
		アカデミックスキル プレゼン・ディベート論 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 北陸観光産業論 コミュニティ・デザイン論 パブリックスペース論 融合演習
専	准教授	川澄 厚志 <令和4年4月> 博士(国際地域学)
		アカデミックスキル プレゼン・ディベート論 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 北陸観光産業論 観光地経営論 観光開発・計画論 融合研究
専	准教授	小高 敬寛 <令和4年4月> 博士(文学)
		現代世界への歴史学的アプローチ 創生インターンシップ 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 無形文化遺産論
専	准教授	松本 拓史 <令和4年4月> 博士(経営学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ ファイナンス基礎 フィンテック基礎とビジネス応用 超スマートシティとSociety 5.0 ※ 金融工学 社会システム工学
専	助教	山口 裕通 <令和4年4月> 博士(工学)
		観光デザイン学基礎※ 数理統計学基礎 データサイエンス実践

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山田 菜緒子 <令和4年4月> Doctor of Philosophy (米国)
		大学・社会生活論 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 環境と観光 持続的な観光 ヘリテージ・インタープリテーション 国際インターンシップA 国際インターンシップB 国際インターンシップC
専	准教授	丸谷 耕太 <令和4年4月> 博士(工学)
		アカデミックスキル プレゼン・ディベート論 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 北陸観光産業論 コミュニティ・デザイン論 パブリックスペース論 融合演習
専	准教授	川澄 厚志 <令和4年4月> 博士(国際地域学)
		アカデミックスキル 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 観光デザイン学基礎※ 北陸観光産業論 観光地経営論 観光開発・計画論 融合研究
専	准教授	小高 敬寛 <令和4年4月> 博士(文学)
		現代世界への歴史学的アプローチ 観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ 無形文化遺産論
専	准教授	松本 拓史 <令和4年4月> 博士(経営学)
		観光プロジェクト演習Ⅰ 観光プロジェクト演習Ⅱ 観光プロジェクト演習Ⅲ 観光プロジェクト演習Ⅳ ファイナンス基礎 フィンテック基礎とビジネス応用 超スマートシティとSociety 5.0 ※ 金融工学 社会システム工学
専	助教	山口 裕通 <令和4年4月> 博士(工学)
		観光デザイン学基礎※ 数理統計学基礎 データサイエンス実践

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		需要予測
専	助教	日比野 由利 ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		データサイエンス基礎 観光データ解析演習 観光デザイン学基礎※ 世界変革技術論※ ダイバーシティ促進 観光調査法 観光データ解析応用
専	助教	和田 啓吾 ＜令和4年4月＞ 博士(機能数理学)
		数理・データサイエンス基礎及び演習 観光データ解析演習 観光デザイン学基礎※ 数理行動モデル基礎 観光データ解析応用
兼任	教授	大竹 茂樹 ＜令和4年4月＞ 医学博士
		アントレプレナー基礎
兼任	教授	山岸 雅子 ＜令和4年4月＞ 学術博士
		観光デザイン学基礎※ 地域居住論
兼任	教授	尾島 恭子 ＜令和4年4月＞ 修士(家政学)
		地域概論 生活デザイン論
兼任	教授	中山 晶一郎 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		観光デザイン学基礎※ 世界変革技術論※ 超スマートシティとSociety 5.0 ※ 交流ネットワーク工学 都市・交通デザイン
兼任	教授	金間 大介 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		イノベーション基礎
兼任	教授	藤谷 かおる ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		エンタテインメントマネジメント論 イベント経営論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		需要予測
専	助教	日比野 由利 ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		データサイエンス基礎 観光データ解析演習 観光デザイン学基礎※ 世界変革技術論※ ダイバーシティ促進 観光調査法 観光データ解析応用
専	助教	和田 啓吾 ＜令和4年4月＞ 博士(機能数理学)
		数理・データサイエンス基礎及び演習 観光データ解析演習 観光デザイン学基礎※ 数理行動モデル基礎 観光データ解析応用
兼任	教授	大竹 茂樹 ＜令和4年4月＞ 医学博士
		アントレプレナー基礎
兼任	教授	山岸 雅子 ＜令和4年4月＞ 学術博士
		観光デザイン学基礎※ 地域居住論
兼任	教授	尾島 恭子 ＜令和4年4月＞ 修士(家政学)
		地域概論 生活デザイン論
兼任	教授	中山 晶一郎 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		観光デザイン学基礎※ 世界変革技術論※ 超スマートシティとSociety 5.0 ※ 交流ネットワーク工学 都市・交通デザイン
兼任	教授	金間 大介 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		イノベーション基礎
兼任	教授	藤谷 かおる ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		エンタテインメントマネジメント論 イベント経営論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		需要予測
専	助教	日比野 由利 ＜令和4年4月＞ 博士(保健学)
		<b>プレゼン・ディベート論</b> 観光データ解析演習 観光デザイン学基礎※ 世界変革技術論※ ダイバーシティ促進 観光調査法 観光データ解析応用
専	助教	和田 啓吾 ＜令和4年4月＞ 博士(機能数理学)
		数理・データサイエンス基礎及び演習 <b>創生インターンシップ</b> 観光デザイン学基礎※ 数理行動モデル基礎 観光データ解析応用
兼任	教授	山岸 雅子 ＜令和4年4月＞ 学術博士
		観光デザイン学基礎※ 地域居住論
兼任	教授	尾島 恭子 ＜令和4年4月＞ 修士(家政学)
		地域概論 生活デザイン論
兼任	教授	中山 晶一郎 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		<b>数理・データサイエンス基礎及び演習</b> 観光デザイン学基礎※ 世界変革技術論※ 超スマートシティとSociety 5.0 ※ 交流ネットワーク工学 都市・交通デザイン
兼任	教授	金間 大介 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		イノベーション基礎 <b>マーケティング基礎</b>
兼任	教授	藤谷 かおる ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		エンタテインメントマネジメント論 イベント経営論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	大友 信秀 ＜令和4年4月＞ 博士(法学)
		実践ブランディング 知的財産法
兼担	教授	寒河江 雅彦 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		情報政策論 統計的意思決定論
兼担	教授	佐無田 光 ＜令和4年4月＞ 博士(経済学)
		地域概論 観光デザイン学基礎※ 北陸の都市・農村・文化 比較地域発展論 文化と地域経済 ソーシャル・ビジネス論
兼担	教授	小俣 正朗 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		数理・データサイエンス基礎及 び演習
兼担	教授	秋田 純一 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		デザイン思考 イノベーションを起こして、起 業家になろう1 イノベーションを起こして、起 業家になろう3
兼担	教授	飯山 宏一 ＜令和4年4月＞ 工学博士
		テクノロジー基礎※
兼担	教授	北山 哲士 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		工業デザイン
兼担	教授	佐藤 賢二 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		テクノロジー基礎※
兼担	教授	足立 由美 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		健康論実践E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	大友 信秀 ＜令和4年4月＞ 博士(法学)
		実践ブランディング 知的財産法
兼担	教授	寒河江 雅彦 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		情報政策論 統計的意思決定論
兼担	教授	佐無田 光 ＜令和4年4月＞ 博士(経済学)
		地域概論 観光デザイン学基礎※ 北陸の都市・農村・文化 <b>北陸の農林水産・製造業</b> 比較地域発展論 文化と地域経済 ソーシャル・ビジネス論
兼担	教授	小俣 正朗 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		数理・データサイエンス基礎及 び演習
兼担	教授	秋田 純一 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		デザイン思考 イノベーションを起こして、起 業家になろう1 イノベーションを起こして、起 業家になろう3
兼担	教授	飯山 宏一 ＜令和4年4月＞ 工学博士
		テクノロジー基礎※
兼担	教授	北山 哲士 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		工業デザイン
兼担	教授	佐藤 賢二 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		テクノロジー基礎※
兼担	教授	足立 由美 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		健康論実践E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	大友 信秀 ＜令和4年4月＞ 博士(法学)
		実践ブランディング 知的財産法
兼担	教授	寒河江 雅彦 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		情報政策論 統計的意思決定論
兼担	教授	佐無田 光 ＜令和4年4月＞ 博士(経済学)
		地域概論 観光デザイン学基礎※ 北陸の都市・農村・文化 <b>北陸の農林水産・製造業</b> 比較地域発展論 文化と地域経済 ソーシャル・ビジネス論
兼担	教授	
兼担	教授	秋田 純一 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		デザイン思考 イノベーションを起こして、起 業家になろう3 <b>IoT技術</b>
兼担	教授	飯山 宏一 ＜令和4年4月＞ 工学博士
		テクノロジー基礎※
兼担	教授	北山 哲士 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		工業デザイン
兼担	教授	佐藤 賢二 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		<b>データサイエンス基礎 プログラミングスキル</b> テクノロジー基礎※
兼担	教授	足立 由美 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		健康論実践E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	上田 望 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		グローバル時代の文学
兼担	教授	太田 亨 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		講義の聴解A 講義の聴解B 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B 異文化理解のためのビデオ会議 ディスカッション
兼担	教授	大藪 加奈 ＜令和4年4月＞ Ph. D. (英国)
		English for Academic Purposes I English for Academic Purposes II English for Academic Purposes III English for Academic Purposes IV English for Academic Purposes (Retake)
兼担	教授	垣内 康孝 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		科学技術と科学方法論
兼担	教授	粕谷 雄一 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		フランス語B-1 フランス語B-2 フランス語C-1 フランス語C-2 ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界1 ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界2
兼担	教授	鎌田 啓一 ＜令和4年4月＞ 理学博士
		物理学I A 物理学I B 物理学II A 物理学II B
兼担	教授	小林 恵美子 ＜令和4年4月＞ Ph. D. (米国)
		異文化間コミュニケーション

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	上田 望 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		グローバル時代の文学
兼担	教授	太田 亨 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		講義の聴解A 講義の聴解B 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B
兼担	教授	大藪 加奈 ＜令和4年4月＞ Ph. D. (英国)
		English for Academic Purposes I English for Academic Purposes II English for Academic Purposes III English for Academic Purposes IV English for Academic Purposes (Retake)
兼担	教授	垣内 康孝 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		科学技術と科学方法論
兼任 講師	講師	粕谷 雄一 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		フランス語B-1 フランス語B-2  ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界1 ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界2
兼担	教授	鎌田 啓一 ＜令和4年4月＞ 理学博士
		物理学I A 物理学I B 物理学II A 物理学II B
兼担	教授	小林 恵美子 ＜令和4年4月＞ Ph. D. (米国)
		異文化間コミュニケーション

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	上田 望 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		中国語A1-1 中国語A1-2 中国語A3-1 中国語A3-2
兼担	教授	太田 亨 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		講義の聴解A 講義の聴解B 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B
兼担	教授	大藪 加奈 ＜令和4年4月＞ Ph. D. (英国)
		English for Academic Purposes I English for Academic Purposes II English for Academic Purposes III English for Academic Purposes IV English for Academic Purposes (Retake)
兼担	教授	垣内 康孝 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		科学技術と科学方法論
兼担	教授	粕谷 雄一 ＜令和4年4月＞ 文学修士
兼担	教授	鎌田 啓一 ＜令和4年4月＞ 理学博士
兼担	教授	小林 恵美子 ＜令和4年4月＞ Ph. D. (米国)
		異文化間コミュニケーション

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	阪上 るり子 ＜令和4年4月＞ Docteur de l'universite de paris-sorbonne (仏国)
		フランス語A (充実クラスⅠ-1) フランス語A (充実クラスⅠ-2)
兼担	教授	坂本 二郎 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		デザイン思考入門
兼担	教授	佐川 哲也 ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		地元学A (地域資源調査) 地元学B (聞き書き) ゼミ/角間の里山づくり 春編 ゼミ/角間の里山づくり 秋編
兼担	教授	櫻井 武 ＜令和4年4月＞ 工学博士
		化学ⅠA 化学ⅠB 化学ⅡA 化学ⅡB
兼担	教授	澤田 茂保 ＜令和4年4月＞ 博士(情報科学)
		TOEIC準備(演習)
兼担	教授	鈴木 信雄 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		海洋生化学演習
兼担	教授	高山 知明 ＜令和4年4月＞ 博士(言語学)
		クリティカル・シンキング
兼担	教授	滝野 隆久 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		細胞・分子生物学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	阪上 るり子 ＜令和4年4月＞ Docteur de l'universite de paris-sorbonne (仏国)
		フランス語C-1 フランス語C-2 フランス語A (充実クラスⅠ-1) フランス語A (充実クラスⅠ-2)
兼担	教授	佐川 哲也 ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		地元学A (地域資源調査) 地元学B (聞き書き) ゼミ/角間の里山づくり 春編 ゼミ/角間の里山づくり 秋編 ローカルキャリアデザインⅠ ローカルキャリアデザインⅡ
兼担	教授	櫻井 武 ＜令和4年4月＞ 工学博士
		化学ⅠA 化学ⅠB 化学ⅡA 化学ⅡB
兼担	教授	澤田 茂保 ＜令和4年4月＞ 博士(情報科学)
		TOEIC準備(演習)
兼担	教授	鈴木 信雄 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		海洋生化学演習
兼担	教授	高山 知明 ＜令和4年4月＞ 博士(言語学)
		クリティカル・シンキング
兼担	教授	滝野 隆久 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		細胞・分子生物学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	阪上 るり子 ＜令和4年4月＞ Docteur de l'universite de paris-sorbonne (仏国)
		フランス語B-1 フランス語B-2 フランス語C-1 フランス語C-2 フランス語A (充実クラスⅠ-1) フランス語A (充実クラスⅠ-2)
兼担	教授	佐川 哲也 ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		キャリアデザインコーチング 地域協創のアンテナ 社会実装から学ぶ循環経済 ゼミ/角間の里山づくり 春編 ゼミ/角間の里山づくり 秋編 ローカルキャリアデザインⅠ ローカルキャリアデザインⅡ
兼担	教授	澤田 茂保 ＜令和4年4月＞ 博士(情報科学)
		TOEIC準備(演習)
兼担	教授	鈴木 信雄 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		海洋生化学演習
兼担	教授	高山 知明 ＜令和4年4月＞ 博士(言語学)
		クリティカル・シンキング
兼担	教授	滝野 隆久 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		細胞・分子生物学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	田邊 浩 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		地域創造学特別講義C 地域創造学特別講義D
兼担	教授	玉井 郁巳 ＜令和4年4月＞ 薬学博士
		アントレプレナーシップI 実践アントレプレナー学 コーヒーと社会 コーヒーと科学
兼担	教授	塚脇 真二 ＜令和4年4月＞ 理学博士
		地学実験 英国諸島の地史I 英国諸島の地史II 環境動態学概説I 環境動態学概説II
兼担	教授	南 相環 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		金沢・能登と世界の地域文化 朝鮮語A1-1 朝鮮語A1-2 朝鮮語A2-1 朝鮮語A2-2 朝鮮語A3-1 朝鮮語A3-2 朝鮮語A4-1 朝鮮語A4-2 朝鮮語B-1 朝鮮語B-2 朝鮮語C-1 朝鮮語C-2
兼担	教授	平瀬 直樹 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		日本史要説
兼担	教授	深澤 のぞみ ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		アカデミック基礎日本語A アカデミック基礎日本語B
兼担	教授	古畑 徹 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		石川県の市町 金沢の歴史と文化 東洋史要説
兼担	教授	堀井 祐介 ＜令和4年4月＞ 博士(言語文化学)
		道徳教育および宗教教育をグローバルに考える

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	田邊 浩 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		地域創造学特別講義C 地域創造学特別講義D
兼担	教授	玉井 郁巳 ＜令和4年4月＞ 薬学博士
		コーヒーと社会 コーヒーと科学
兼担	教授	塚脇 真二 ＜令和4年4月＞ 理学博士
		地学実験 環境動態学概説I 環境動態学概説II
兼任	講師	南 相環 ＜令和4年4月＞ 文学修士※
		金沢・能登と世界の地域文化
兼担	教授	平瀬 直樹 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		日本史要説
兼担	教授	古畑 徹 ＜令和4年4月＞ 文学修士※
		石川県の市町 金沢の歴史と文化 東洋史要説
兼担	教授	堀井 祐介 ＜令和4年4月＞ 博士(言語文化学)
		道徳教育および宗教教育をグローバルに考える

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	田邊 浩 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		地域創造プロジェクト講義C
兼担	教授	玉井 郁巳 ＜令和4年4月＞ 薬学博士
		コーヒーと社会 コーヒーと科学
兼担	教授	塚脇 真二 ＜令和4年4月＞ 理学博士
		地学実験 環境動態学概説I 環境動態学概説II
兼担	教授	南 相環 ＜令和4年4月＞ 文学修士※
		金沢・能登と世界の地域文化
兼担	教授	平瀬 直樹 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		日本史要説
兼担	教授	深澤 のぞみ ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		アカデミック基礎日本語A アカデミック基礎日本語B
兼担	教授	古畑 徹 ＜令和4年4月＞ 文学修士※
		石川県の市町 金沢の歴史と文化 東洋史要説
兼担	教授	堀井 祐介 ＜令和4年4月＞ 博士(言語文化学)
		道徳教育および宗教教育をグローバルに考える

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	松井 三枝 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		価値と情動の認知科学
兼担	教授	三浦 要 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		哲学(自我論)
兼担	教授	峯 正志 ＜令和4年4月＞ 文学修士※
		□頭発表A □頭発表B 日本事情A 日本事情B
兼担	教授	山崎 友也 ＜令和4年4月＞ 法学修士※
		日本国憲法概説
兼担	教授	吉川 弘明 ＜令和4年4月＞ 医学博士
		健康論実践D 心と体の健康A 心と体の健康B
兼担	教授	米田 隆 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		健康科学 イノベーションを起こして、起業家になろう2 イノベーションを起こして、起業家になろう4

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	松井 三枝 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		価値と情動の認知科学
兼担	教授	三浦 要 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		哲学(自我論)
兼担	教授	峯 正志 ＜令和4年4月＞ 文学修士※
		□頭発表A □頭発表B 日本事情A 日本事情B
兼担	教授	山崎 友也 ＜令和4年4月＞ 法学修士※
		日本国憲法概説
兼担	教授	吉川 弘明 ＜令和4年4月＞ 医学博士
		健康論実践D 心と体の健康A 心と体の健康B
兼担	教授	米田 隆 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		健康科学 イノベーションを起こして、起業家になろう2 イノベーションを起こして、起業家になろう4
兼担	教授	大野 浩之 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		クラウド時代の「ものグラミング」概論 シェルスクリプト言語論1 シェルスクリプト言語論2 シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習 シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習 Society5.0概論A Society5.0概論B
兼担	教授	林 透 ＜令和4年4月＞ 博士(教育)
		デザイン思考入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	松井 三枝 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		価値と情動の認知科学
兼担	教授	三浦 要 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		哲学(自我論)
兼任	講師	峯 正志 ＜令和4年4月＞ 文学修士※
		□頭発表A □頭発表B
兼担	教授	山崎 友也 ＜令和4年4月＞ 法学修士※
		日本国憲法概説
兼担	教授	吉川 弘明 ＜令和4年4月＞ 医学博士
		健康論実践D 心と体の健康A 心と体の健康B
兼担	教授	米田 隆 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		イノベーションを起こして、起業家になろう2
兼担	教授	大野 浩之 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		クラウド時代の「ものグラミング」概論 シェルスクリプト言語論1 シェルスクリプト言語論2 シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習A シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習B シェルスクリプトを用いた「大規模データ処理」演習A シェルスクリプトを用いた「大規模データ処理」演習B
兼担	教授	林 透 ＜令和4年4月＞ 博士(教育)
		デザイン思考入門



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	南保 英孝 <令和4年4月> 博士(工学)
		人工知能 データベース論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	南保 英孝 <令和4年4月> 博士(工学)
		人工知能 データベース論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	浅川 毅 <令和5年4月> 理学博士
		化学 I A 化学 I B 化学 II A 化学 II B
兼任	教授	QI HUA <令和5年4月> 博士(文学)(中国)
		中国語 C-1 中国語 C-2
兼任	教授	斉木 麻利子 <令和5年4月> Doctor of Philosophy(米国)
		日本事情 A 日本事情 B
兼任	教授	斎藤 肇雄 <令和5年4月> 理学博士
		物理学 I A 物理学 I B 物理学 II A 物理学 II B
兼任	教授	菅野 孝史 <令和5年4月> 理学博士
		微分積分学 I A 微分積分学 I B 微分積分学 II A 微分積分学 II B 線形代数学 I A 線形代数学 I B 線形代数学 II A 線形代数学 II B
兼任	教授	杉山 欣也 <令和5年4月> 博士(文学)
		文学創作実践
兼任	教授	田中 茂雄 <令和5年4月> 博士(工学)
		イノベーションを起こして、起業家になろう1
兼任	教授	八柳 祐一 <令和5年4月> 博士(理学)
		A I 入門
兼任	准教授	南保 英孝 <令和4年4月> 博士(工学)
		アプリ開発 人工知能

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	藤生 慎 ＜令和4年4月＞ 博士(学術情報学)
		地理情報システム演習 テクノロジー基礎※ IoT技術 時空間データ解析
兼担	准教授	ダガン さがの ＜令和4年4月＞ Master of Arts (新国)
		学域GS言語科目Ⅰ/海外実践英語 学域GS言語科目Ⅱ/時事・学術英語
兼担	准教授	林 紀代美 ＜令和4年4月＞ 博士(人間・環境学)
		資源活用と環境共生
兼担	准教授	田村 うらら ＜令和4年4月＞ 博士(人間・環境学)
		文化と消費社会 伝統文化変容論
兼担	准教授	池上 貴之 ＜令和4年4月＞ Master of Fine Arts in Design (瑞国)・ 修士(教育学)
		形態・色彩デザイン論
兼担	准教授	菊地 直樹 ＜令和4年4月＞ 博士(社会学)
		自然観光論 地域マネジメント論
兼担	准教授	畑 光彦 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		超スマートシティとSociety 5.0 ※
兼担	准教授	高山 雄貴 ＜令和4年4月＞ 博士(情報科学)
		プランニング最適化
兼担	准教授	中西 航 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		交通工学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	藤生 慎 ＜令和4年4月＞ 博士(学術情報学)
		観光DX・PBL演習Ⅰ 観光DX・PBL演習Ⅱ 地理情報システム演習 テクノロジー基礎※ IoT技術 時空間データ解析
兼担	准教授	ダガン さがの ＜令和4年4月＞ Master of Arts (新国)
		学域GS言語科目Ⅰ/海外実践英語 学域GS言語科目Ⅱ/時事・学術英語
兼担	准教授	林 紀代美 ＜令和4年4月＞ 博士(人間・環境学)
		資源活用と環境共生
兼担	准教授	田村 うらら ＜令和4年4月＞ 博士(人間・環境学)
		文化と消費社会 伝統文化変容論
兼担	准教授	池上 貴之 ＜令和4年4月＞ Master of Fine Arts in Design (瑞国)・ 修士(教育学)
		形態・色彩デザイン論
兼担	准教授	菊地 直樹 ＜令和4年4月＞ 博士(社会学)
		自然観光論 地域マネジメント論
兼担	教授	畑 光彦 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		超スマートシティとSociety 5.0 ※
兼担	准教授	高山 雄貴 ＜令和4年4月＞ 博士(情報科学)
		プランニング最適化
兼担	准教授	中西 航 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		交通工学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		データベース論
兼担	准教授	藤生 慎 ＜令和4年4月＞ 博士(学術情報学)
		アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ 観光DX・PBL演習Ⅰ 観光DX・PBL演習Ⅱ 地理情報システム演習 テクノロジー基礎※ IoT技術 時空間データ解析
兼担	准教授	ダガン さがの ＜令和4年4月＞ Master of Arts (新国)
		学域GS言語科目Ⅰ/海外実践英語 学域GS言語科目Ⅱ/時事・学術英語
兼担	准教授	林 紀代美 ＜令和4年4月＞ 博士(人間・環境学)
		資源活用と環境共生
兼担	准教授	田村 うらら ＜令和4年4月＞ 博士(人間・環境学)
		文化と消費社会 伝統文化変容論
兼担	准教授	池上 貴之 ＜令和4年4月＞ Master of Fine Arts in Design (瑞国)・ 修士(教育学)
		形態・色彩デザイン論
兼担	教授	菊地 直樹 ＜令和4年4月＞ 博士(社会学)
		自然観光論 地域マネジメント論
兼担	教授	畑 光彦 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		超スマートシティとSociety 5.0 ※
兼任	講師	高山 雄貴 ＜令和4年4月＞ 博士(情報科学)
		プランニング最適化
兼担	准教授	中西 航 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		シェアリングエコノミー 交通工学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	小田桐 拓志 ＜令和4年4月＞ PHD (米国)
		ケーススタディによる応用倫理学 世界変革技術論※ 観光倫理学
兼担	准教授	井出 明 ＜令和4年4月＞ 博士 (情報学)
		文化観光論 グローバル社会と地域の課題
兼担	准教授	河内 幾帆 ＜令和4年4月＞ Doctor of Philosophy (米国)
		環境学とESD SDGs基礎 SDGs実践
兼担	准教授	茅原 崇徳 ＜令和4年4月＞ 博士 (工学)
		デザイン思考入門 人間工学
兼担	准教授	浅井 暁子 ＜令和4年4月＞ 修士 (文学)
		芸術と自己表現
兼担	准教授	井町 智彦 ＜令和4年4月＞ 博士 (工学)
		コンピュータグラフィクス演習 I コンピュータグラフィクス演習 II プログラミング演習 I プログラミング演習 II
兼担	准教授	河合 晃一 ＜令和4年4月＞ 博士 (公共経営)
		石川県の行政
兼担	准教授	菊谷 まり子 ＜令和4年4月＞ Ph. D. (Psychology) (英国)
		パーソナリティ心理学
兼担	准教授	木村 岳裕 ＜令和4年4月＞ 博士 (医学)
		エクササイズ&スポーツ 実技

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	小田桐 拓志 ＜令和4年4月＞ PHD (米国)
		ケーススタディによる応用倫理学 世界変革技術論※ 観光倫理学
兼担	准教授	井出 明 ＜令和4年4月＞ 博士 (情報学)
		文化観光論 グローバル社会と地域の課題
兼担	准教授	河内 幾帆 ＜令和4年4月＞ Doctor of Philosophy (米国)
		環境学とESD SDGs基礎 SDGs実践
兼担	准教授	茅原 崇徳 ＜令和4年4月＞ 博士 (工学)
		人間工学
兼担	准教授	浅井 暁子 ＜令和4年4月＞ 修士 (文学)
		芸術と自己表現
兼担	准教授	井町 智彦 ＜令和4年4月＞ 博士 (工学)
		コンピュータグラフィクス演習 I コンピュータグラフィクス演習 II
兼担	准教授	河合 晃一 ＜令和4年4月＞ 博士 (公共経営)
		石川県の行政
兼担	准教授	菊谷 まり子 ＜令和4年4月＞ Ph. D. (Psychology) (英国)
		パーソナリティ心理学
兼担	准教授	木村 岳裕 ＜令和4年4月＞ 博士 (医学)
		エクササイズ&スポーツ 実技

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	小田桐 拓志 ＜令和4年4月＞ PHD (米国)
		ケーススタディによる応用倫理学 世界変革技術論※ 観光倫理学
兼担	教授	井出 明 ＜令和4年4月＞ 博士 (情報学)
		文化観光論 グローバル社会と地域の課題
兼担	准教授	河内 幾帆 ＜令和4年4月＞ Doctor of Philosophy (米国)
		環境学とESD SDGs基礎 SDGs実践
兼担	准教授	茅原 崇徳 ＜令和4年4月＞ 博士 (工学)
		人間工学
兼担	准教授	浅井 暁子 ＜令和4年4月＞ 修士 (文学)
		芸術と自己表現
兼担	准教授	
兼担	准教授	河合 晃一 ＜令和4年4月＞ 博士 (公共経営)
		石川県の行政
兼担	准教授	菊谷 まり子 ＜令和4年4月＞ Ph. D. (Psychology) (英国)
		パーソナリティ心理学
兼担	准教授	木村 岳裕 ＜令和4年4月＞ 博士 (医学)
		エクササイズ&スポーツ 実技

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	木矢 剛智 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		生物学実験
兼担	准教授	上田 長生 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼担	准教授	小島 莊一 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		上級読解ⅡA 上級読解ⅡB アカデミック・ライティングA アカデミック・ライティングB
兼担	准教授	佐藤 朋子 ＜令和4年4月＞ DOCTORAT (psychoses et etats limites (仏国))
		フランス語A 1-1 フランス語A 1-2 フランス語A 2-1 フランス語A 2-2 フランス語A 3-1 フランス語A 3-2 フランス語A 4-1 フランス語A 4-2 フランス語A (充実クラスⅡ-1) フランス語A (充実クラスⅡ-2)
兼担	准教授	高田 良宏 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		AI入門 情報の科学
兼担	准教授	趙 菁 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		中国語A 1-1 中国語A 1-2 中国語A 2-1 中国語A 2-2 中国語A 3-1 中国語A 3-2 中国語A 4-1 中国語A 4-2 中国語B-1 中国語B-2 中国語C-1 中国語C-2 中国語A (充実クラスⅡ-1) 中国語A (充実クラスⅡ-2)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	木矢 剛智 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		生物学実験
兼担	准教授	上田 長生 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼担	准教授	小島 莊一 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		上級読解ⅠA 上級読解ⅠB 上級読解ⅡA 上級読解ⅡB アカデミック・ライティングA アカデミック・ライティングB
兼担	准教授	佐藤 朋子 ＜令和4年4月＞ DOCTORAT (psychoses et etats limites (仏国))
		フランス語A 1-1 フランス語A 1-2 フランス語A 2-1 フランス語A 2-2 フランス語A 3-1 フランス語A 3-2 フランス語A 4-1 フランス語A 4-2 フランス語A (充実クラスⅡ-1) フランス語A (充実クラスⅡ-2)
兼担	准教授	高田 良宏 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		情報の科学
兼担	教授	趙 菁 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		中国語A 1-1 中国語A 1-2 中国語A 2-1 中国語A 2-2 中国語A 3-1 中国語A 3-2 中国語A 4-1 中国語A 4-2 中国語B-1 中国語B-2 中国語C-1 中国語C-2 中国語A (充実クラスⅡ-1) 中国語A (充実クラスⅡ-2)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	木矢 剛智 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		生物学実験
兼担	准教授	上田 長生 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化 日本史要説
兼担	准教授	小島 莊一 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		上級読解ⅡA 上級読解ⅡB アカデミック・ライティングA アカデミック・ライティングB
兼担	准教授	佐藤 朋子 ＜令和4年4月＞ DOCTORAT (psychoses et etats limites (仏国))
		フランス語A 1-1 フランス語A 1-2 フランス語A 2-1 フランス語A 2-2 フランス語A 3-1 フランス語A 3-2 フランス語A 4-1 フランス語A 4-2 フランス語A (充実クラスⅡ-1) フランス語A (充実クラスⅡ-2)
兼担	准教授	高田 良宏 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		情報の科学
兼担	教授	趙 菁 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		中国語A 2-1 中国語A 2-2  中国語A 4-1 中国語A 4-2 中国語B-1 中国語B-2  中国語A (充実クラスⅡ-2)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	西嶋 愉一 ＜令和4年4月＞ 工学修士
		TOEIC準備 I TOEIC準備 II TOEIC準備 III TOEIC準備 IV 英語セミナー
兼担	准教授	早川 文人 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		ドイツ語A 1-1 ドイツ語A 1-2 ドイツ語A 3-1 ドイツ語A 3-2 ドイツ語A(充実クラスI-1) ドイツ語A(充実クラスI-2)
兼担	准教授	平松 潤奈 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		ロシア語A 1-1 ロシア語A 1-2 ロシア語A 2-1 ロシア語A 2-2 ロシア語A 3-1 ロシア語A 3-2 ロシア語A 4-1 ロシア語A 4-2 ロシア語B-1 ロシア語B-2 ロシア語C-1 ロシア語C-2
兼担	准教授	深川 美帆 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		上級読解I A 上級読解I B 日本の伝統芸能
兼担	准教授	村上 裕 ＜令和4年4月＞ 修士(地域政策)
		現代社会における保険の制度と役割I 現代社会における保険の制度と役割II
兼担	准教授	村山 孝之 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		スポーツ科学
兼担	准教授	山下 治和 ＜令和4年4月＞ 法学修士
		行政学の基礎
兼担	准教授	山本 洋 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		香りと日本文化

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	西嶋 愉一 ＜令和4年4月＞ 工学修士
		TOEIC準備 I TOEIC準備 II TOEIC準備 III TOEIC準備 IV 英語セミナー
兼担	准教授	早川 文人 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		ドイツ語A(充実クラスI-1) ドイツ語A(充実クラスI-2)
兼担	准教授	平松 潤奈 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		ロシア語A 1-1 ロシア語A 1-2 ロシア語A 2-1 ロシア語A 2-2 ロシア語A 3-1 ロシア語A 3-2 ロシア語A 4-1 ロシア語A 4-2 ロシア語B-1 ロシア語B-2 ロシア語C-1 ロシア語C-2
兼担	准教授	深川 美帆 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		アカデミック基礎日本語A アカデミック基礎日本語B  日本の伝統芸能
兼担	准教授	村上 裕 ＜令和4年4月＞ 修士(地域政策)
		現代社会における保険の制度と役割I 現代社会における保険の制度と役割II
兼担	准教授	村山 孝之 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		スポーツ科学
兼担	准教授	山下 治和 ＜令和4年4月＞ 法学修士
		行政学の基礎
兼担	准教授	山本 洋 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		香りと日本文化

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	西嶋 愉一 ＜令和4年4月＞ 工学修士
		TOEIC準備 I TOEIC準備 II TOEIC準備 III TOEIC準備 IV 英語セミナー
兼担	准教授	早川 文人 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		ドイツ語A(充実クラスI-1) ドイツ語A(充実クラスI-2)
兼担	准教授	深川 美帆 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		アカデミック基礎日本語A アカデミック基礎日本語B  日本の伝統芸能
兼担	准教授	村上 裕 ＜令和4年4月＞ 修士(地域政策)
		現代社会における保険の制度と役割I 現代社会における保険の制度と役割II
兼担	准教授	村山 孝之 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		スポーツ科学
兼担	准教授	山下 治和 ＜令和4年4月＞ 法学修士
		行政学の基礎
兼担	准教授	山本 洋 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		香りと日本文化

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	吉永 匡史 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼担	准教授	渡辺 敦子 ＜令和4年4月＞ Doctor of Philosophy (英国)
		グローバル時代の国際協力
兼担	講師	奥田 恒 ＜令和4年4月＞ 博士(人間・環境学)
		地域観光政策論
兼担	講師	ZHANG Jing ＜令和4年4月＞ 博士(マネジメント)
		マーケティング基礎
兼担	講師	飯田 玲子 ＜令和4年4月＞ 博士(地域研究)
		現代社会と人権

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	吉永 匡史 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼担	准教授	渡辺 敦子 ＜令和4年4月＞ Doctor of Philosophy (英国)
		グローバル時代の国際協力
兼担	准教授	佐藤 文彦 ＜令和4年4月＞ Dr. phil. (韓国)
		ドイツ語A1-1 ドイツ語A1-2 ドイツ語A3-1 ドイツ語A3-2
兼担	准教授	篠田 隆行 ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		ソーシャルビジネス概論 能登・地域活性化演習Ⅰ 能登・地域活性化演習Ⅱ
兼担	准教授	渡辺 達雄 ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		地域のトップリーダーを繋ぐⅠ 地域のトップリーダーを繋ぐⅡ
兼担	講師	奥田 恒 ＜令和4年4月＞ 博士(人間・環境学)
		地域観光政策論
兼担	講師	ZHANG Jing ＜令和4年4月＞ 博士(マネジメント)
		マーケティング基礎
兼担	講師	飯田 玲子 ＜令和4年4月＞ 博士(地域研究)
		現代社会と人権

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	吉永 匡史 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼担	准教授	渡辺 敦子 ＜令和4年4月＞ Doctor of Philosophy (英国)
		グローバル時代の国際協力
兼担	教授	佐藤 文彦 ＜令和4年4月＞ Dr. phil. (韓国)
		グローバル時代の文学 ドイツ語A1-1 ドイツ語A1-2 ドイツ語A3-1 ドイツ語A3-2
兼担	准教授	篠田 隆行 ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		石川未来プロジェクトⅠ 石川未来プロジェクトⅡ ソーシャルビジネス概論 能登・地域活性化演習 北陸地域デザイン学
兼担	准教授	渡辺 達雄 ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		地域のトップリーダーを繋ぐⅠ 地域のトップリーダーを繋ぐⅡ
兼担	准教授	THELEN TIMO ＜令和5年4月＞ Master of Arts (独逸)
		ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2
兼担	講師	奥田 恒 ＜令和4年4月＞ 博士(人間・環境学)
		地域観光政策論
兼担	講師	
兼担	講師	飯田 玲子 ＜令和4年4月＞ 博士(地域研究)
		現代社会と人権

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	川越 謙一 ＜令和4年4月＞ 博士(数理学)
		論理学と数学の基礎
兼担	講師	佐々木 葉月 ＜令和4年4月＞ 博士(国際公共政策)
		グローバル時代の政治経済学
兼担	講師	眞住 優助 ＜令和4年4月＞ Ph. D. (米国)
		グローバル時代の社会学
兼担	講師	松浦 義昭 ＜令和4年4月＞ 修士(経営科学)
		統計学から未来を見る
兼担	助教	唐島 成宙 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		テクノロジー基礎※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	川越 謙一 ＜令和4年4月＞ 博士(数理学)
		論理学と数学の基礎
兼担	講師	佐々木 葉月 ＜令和4年4月＞ 博士(国際公共政策)
		グローバル時代の政治経済学
兼担	講師	眞住 優助 ＜令和4年4月＞ Ph. D. (米国)
		グローバル時代の社会学
兼担	講師	松浦 義昭 ＜令和4年4月＞ 修士(経営科学)
		統計学から未来を見る
兼担	講師	有賀 三夏 ＜令和4年4月＞ Master of Arts (米国)
		AI入門
兼担	講師	佐藤 圭 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		地球生物圏と人間
兼担	助教	唐島 成宙 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		テクノロジー基礎※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	川越 謙一 ＜令和4年4月＞ 博士(数理学)
		論理学と数学の基礎
兼担	講師	佐々木 葉月 ＜令和4年4月＞ 博士(国際公共政策)
		グローバル時代の政治経済学
兼担	准教授	眞住 優助 ＜令和4年4月＞ Ph. D. (米国)
		グローバル時代の社会学
兼担	講師	松浦 義昭 ＜令和4年4月＞ 修士(経営科学)
		統計学から未来を見る
兼担	講師	有賀 三夏 ＜令和4年4月＞ 博士(知識科学)
		デザイン思考
兼担	講師	佐藤 圭 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		地球生物圏と人間
兼担	講師	大澤 隆将 ＜令和5年4月＞ PhD(英国)
		地域社会と文化人類学
兼担	講師	西村 英希 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		中国語A(充実クラスⅡ-1)
兼担	准教授	唐島 成宙 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		健康科学 テクノロジー基礎※



専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	助教	西脇 ゆり ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		テクノロジー基礎※
兼担	助教	高沼 理恵 ＜令和4年4月＞ 修士(政策・メディア)
		デザイン思考 アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ 異文化理解とキャリア開発
兼担	助教	榎本 文彦 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		微分積分学ⅠA 微分積分学ⅠB 微分積分学ⅡA 微分積分学ⅡB 線形代数学ⅠA 線形代数学ⅠB 線形代数学ⅡA 線形代数学ⅡB
兼担	助教	小笠原 知子 ＜令和4年4月＞ Master of Science (米国)
		異文化体験A 異文化体験B 異文化体験C 異文化体験D 異文化体験E 異文化体験F 異文化体験G 異文化体験H

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	助教	西脇 ゆり ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		テクノロジー基礎※
兼担	助教	高沼 理恵 ＜令和4年4月＞ 修士(政策・メディア)
		異文化間コミュニケーション デザイン思考入門 デザイン思考 アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ 異文化理解とキャリア開発
兼担	助教	榎本 文彦 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		微分積分学ⅠA 微分積分学ⅠB 微分積分学ⅡA 微分積分学ⅡB 線形代数学ⅠA 線形代数学ⅠB 線形代数学ⅡA 線形代数学ⅡB
兼担	助教	小笠原 知子 (57) ＜令和4年4月＞ Master of Science (米国)
		異文化体験A 異文化体験B 異文化体験C 異文化体験D 異文化体験E 異文化体験F 異文化体験G 異文化体験H

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	西脇 ゆり ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		テクノロジー基礎※ <b>ダイバーシティ促進</b>
兼担	助教	高沼 理恵 ＜令和4年4月＞ 修士(政策・メディア)
		異文化間コミュニケーション デザイン思考入門 デザイン思考 異文化理解とキャリア開発
兼担	助教	小笠原 知子 ＜令和4年4月＞ Master of Science (米国)
		異文化体験A 異文化体験B 異文化体験C 異文化体験D 異文化体験E 異文化体験F 異文化体験G 異文化体験H

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	助教	木下 健 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		細胞・分子生物学
兼担	助教	KLACANSKA JANA ＜令和4年4月＞ Master of Arts(独国)
		ドイツ語A2-1 ドイツ語A2-2 ドイツ語A4-1 ドイツ語A4-2 ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2 ドイツ語A(充実クラスⅡ-1) ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)
兼担	助教	佐藤 智哉 ＜令和4年4月＞ Ph.D.(米国)
		地域「超」体験プログラム
兼担	助教	東 昭孝 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		Pythonデータ分析入門
兼担	助教	PHILLIPPS JEREMY DAVID ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼担	助教	三橋 了爾 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		インテグレート科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	助教	木下 健 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		細胞・分子生物学
兼担	助教	KLACANSKA JANA ＜令和4年4月＞ Master of Arts(独国)
		ドイツ語A2-1 ドイツ語A2-2 ドイツ語A4-1 ドイツ語A4-2 ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2 ドイツ語A(充実クラスⅡ-1) ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)
兼担	准教授	佐藤 智哉 ＜令和4年4月＞ Ph.D.(米国)
		未来デザインプラクティス
兼担	助教	東 昭孝 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		Pythonデータ分析入門
兼担	助教	PHILLIPPS JEREMY DAVID ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼担	助教	三橋 了爾 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		インテグレート科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	助教	木下 健 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		細胞・分子生物学
兼担	助教	KLACANSKA JANA ＜令和4年4月＞ Master of Arts(独国)
		ドイツ語A2-1 ドイツ語A2-2 ドイツ語A4-1 ドイツ語A4-2  ドイツ語A(充実クラスⅡ-1) ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)
兼担	准教授	佐藤 智哉 ＜令和4年4月＞ Ph.D.(米国)
		未来デザインプラクティス 日本の工芸とデザイン
兼担	助教	東 昭孝 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		Pythonデータ分析入門 Unityゲーム開発演習 リアルタイムVFX演習
兼担	助教	PHILLIPPS JEREMY DAVID ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼担	准教授	三橋 了爾 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		インテグレート科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	森 祥寛 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		クラウド時代の「ものグラミング」概論 シェルスクリプト言語論 シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習 プレゼンテーション演習A プレゼンテーション演習B 動画配信サービスを用いた情報発信演習A 動画配信サービスを用いた情報発信演習B Society 5.0概論
兼任	助教	尹 一喜 ＜令和4年4月＞ 博士(社会福祉学)
		生活と社会保障
兼任	講師	岡 達哉 ＜令和4年4月＞ Master of Public Administration(米国)
		ホスピタリティ概論 観光法制度論 ホスピタリティ・マネジメント
兼任	講師	小田 佳子 ＜令和4年4月＞ 博士(体育学)
		エクササイズ&スポーツ 実技
兼任	講師	林野 紀子 ＜令和4年4月＞ 修士(工学)
		リノベーション論
兼任	講師	雄谷 ソニア 啓子 ＜令和4年4月＞ マドリード工芸大学大学院建築学専攻修了
		スペイン語A1-1 スペイン語A1-2 スペイン語A2-1 スペイン語A2-2 スペイン語A3-1 スペイン語A3-2 スペイン語A4-1 スペイン語A4-2 スペイン語B-1 スペイン語B-2 スペイン語C-1 スペイン語C-2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	森 祥寛 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		プレゼンテーション演習A プレゼンテーション演習B 動画配信サービスを用いた情報発信演習A 動画配信サービスを用いた情報発信演習B
兼任	助教	尹 一喜 ＜令和4年4月＞ 博士(社会福祉学)
		生活と社会保障
兼任	講師	岡 達哉 ＜令和4年4月＞ Master of Public Administration(米国)
		ホスピタリティ概論 観光法制度論 ホスピタリティ・マネジメント
兼任	講師	林野 紀子 ＜令和4年4月＞ 修士(工学)
		リノベーション論
兼任	講師	雄谷 ソニア 啓子 ＜令和4年4月＞ マドリード工芸大学大学院建築学専攻修了
		スペイン語A1-1 スペイン語A1-2 スペイン語A2-1 スペイン語A2-2 スペイン語A3-1 スペイン語A3-2 スペイン語A4-1 スペイン語A4-2 スペイン語B-1 スペイン語B-2 スペイン語C-1 スペイン語C-2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	森 祥寛 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		プレゼンテーション演習A プレゼンテーション演習B 動画配信サービスを用いた情報発信演習A 動画配信サービスを用いた情報発信演習B
兼任	助教	尹 一喜 ＜令和4年4月＞ 博士(社会福祉学)
		生活と社会保障
兼任	助教	苅谷 千尋 ＜令和5年4月＞ 博士(政策科学)
		学域横断的プロジェクト入門
兼任	講師	岡 達哉 ＜令和4年4月＞ Master of Public Administration(米国)
		ホスピタリティ概論 観光法制度論 ホスピタリティ・マネジメント
兼任	講師	林野 紀子 ＜令和4年4月＞ 修士(工学)
		リノベーション論
兼任	講師	雄谷 ソニア 啓子 ＜令和4年4月＞ マドリード工芸大学大学院建築学専攻修了
		スペイン語A1-1 スペイン語A1-2 スペイン語A2-1 スペイン語A2-2 スペイン語A3-1 スペイン語A3-2 スペイン語A4-1 スペイン語A4-2 スペイン語B-1 スペイン語B-2 スペイン語C-1 スペイン語C-2

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 源吾 <令和4年4月> 博士(理学)
		地球生物圏と人間

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宋 有幸 <令和4年4月> 博士(文学)
		朝鮮語A1-1 朝鮮語A1-2 朝鮮語A2-1 朝鮮語A2-2 挑戦語A3-1 朝鮮語A3-2 朝鮮語A4-1 朝鮮語A4-2
兼任	講師	CHOI JUNGAH <令和4年4月> 博士(理学)
		朝鮮語B-1 朝鮮語B-2 朝鮮語C-1 朝鮮語C-2

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宋 有幸 <令和4年4月> 博士(文学)
		朝鮮語A1-1 朝鮮語A1-2 朝鮮語A2-1 朝鮮語A2-2 挑戦語A3-1 朝鮮語A3-2 朝鮮語A4-1 朝鮮語A4-2
兼任	講師	CHOI JUNGAH <令和4年4月> 博士(理学)
		朝鮮語B-1 朝鮮語B-2 朝鮮語C-1 朝鮮語C-2
兼任	講師	武田 昭文 <令和5年4月> 修士(文学)
		ロシア語A1-1 ロシア語A1-2 ロシア語C-1 ロシア語C-2
兼任	講師	苗田 敏美 <令和5年4月> 修士(言語教育)
		日本語A2-1 日本語A2-2 日本語A3-1 日本語A3-2
兼任	講師	星 摩美 <令和5年4月> 博士(学術)
		日本語A1-1 日本語A1-2
兼任	講師	本田 弘之 <令和5年4月> 博士(日本語教育学)
		上級読解I A 上級読解I B
兼任	講師	BONDARENKO OXANA <令和5年4月> 修士(文学)
		ロシア語A2-1 ロシア語A2-2 ロシア語A3-1 ロシア語A3-2 ロシア語A4-1 ロシア語A4-2 ロシア語B-1 ロシア語B-2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		山中 里紗 <令和5年4月> 修士(日本語教育)
兼任	講師	日本語A4-1 日本語A4-2

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
  - ・ その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・西山宣昭教授、松田(白石)真希子教授、佐無田光教授、太田亨教授、阪上るり子教授、佐川哲也教授、塚脇真二教授、藤生慎准教授、茅原崇徳准教授、井町智彦准教授、小島莊一准教授、高田良宏准教授、早川文人准教授、深川美帆准教授、高沼(村上)理恵助教、森祥寛助教の担当授業科目を変更。
- ・粕谷雄一教授、南相環教授を兼任・教授から兼任・講師へ変更し、担当授業科目を変更。
- ・科目の見直しにより、坂本二郎教授、深澤のぞみ教授、小田住子講師、田中源吾講師の兼任・兼任を取り消し。
- ・科目の見直しにより、大野浩之教授、林透教授、佐藤文彦准教授、篠田隆行准教授、渡辺達雄准教授、有賀三夏(てるみ)講師、佐藤圭講師を兼任教員に追加。
- ・科目の見直しにより、宋有宰講師、CHOI JUNGAH講師を兼任教員に追加。
- ・畑光彦准教授、趙菁准教授の職階を准教授から教授に変更。
- ・佐藤智哉助教の職階を助教から准教授に変更し、担当授業科目を変更。

【令和5年度】

- ・担当科目の後期開講が確定したことにより、敷田麻実教授の就任が令和5年4月から令和5年10月に変更。
- ・有賀三夏(てるみ)兼任・講師の学位取得、担当授業科目を変更。
- ・科目の見直しにより、堤敦朗教授、藤澤美恵子教授、西山宣昭教授、佐藤正英教授、松島大輔教授、丸谷耕太准教授、川澄厚志准教授、小高敬寛准教授、日比野由利助教、和田啓吾助教、中山晶一郎教授、金間大介教授、秋田純一教授、佐藤賢二教授、上田望教授、阪上るり子教授、佐川哲也教授、田邊浩教授、米田隆教授、大野浩之教授、南保英孝准教授、藤生慎准教授、上田長生准教授、小島莊一准教授、趙菁教授、篠田隆行准教授、中西航准教授、佐藤智哉准教授、高沼(村上)理恵助教、KLACANSKA JANA助教、東昭孝助教の担当授業科目を変更。
- ・科目の見直しにより、大竹茂樹教授、小俣正朗教授、粕谷雄一講師、鎌田啓一教授、櫻井武教授、南相環講師、平瀬直樹教授、井町智彦准教授、平松(乗松)潤奈准教授、山本洋准教授、ZHANG Jing講師、榎本文彦助教の兼任・兼任を取り消し。
- ・峯正志を兼任・教授から兼任・講師へ変更し、担当授業科目を変更。
- ・科目の見直しにより、杉山欣也教授、浅川毅教授、齊木麻利子教授、斎藤肇雄教授、菅野孝史教授、八柳祐一教授、QI HUA教授、田中茂雄教授、THELEN TIMO准教授、大澤隆将講師、西村英希講師、苅谷千尋助教を兼任教員に追加。
- ・科目の見直しにより、本田弘之講師、武田昭文講師、BONDARENKO OXANA講師、苗田敏美講師、星摩美講師、山中里紗講師を兼任教員に追加。
- ・眞鍋知子を専任・教授から兼任・教授に変更し、担当授業科目を変更。
- ・松田(白石)真希子を専任・教授から兼任・講師に変更し、担当授業科目を変更。
- ・菊地直樹、井出明を兼任・准教授から兼任・教授に変更し、担当授業科目を変更。
- ・高山雄貴を兼任・准教授から兼任・講師へ変更。
- ・佐藤文彦を兼任・准教授から兼任・教授に変更し、担当授業科目を変更。
- ・眞住優助を兼任・講師から兼任・准教授に変更。
- ・唐島成宙を兼任・助教から兼任・准教授に変更し、担当授業科目を変更。
- ・西脇(秋根)ゆりを兼任・助教から兼任・講師に変更し、担当授業科目を変更。
- ・三橋了爾を兼任・助教から兼任・准教授に変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	6
12	
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。  
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
9	5	0	3	17	0	6	5	0	3	14	0
(8)	(5)	(0)	(3)	(16)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
8	5	0	3	16	0	9	5	0	3	17	0
[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合は、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{17} = \boxed{94.11} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	眞鍋 知子	R5.4	必修	アントレプレナー基礎	②	R5.3.31付け他学類着任のため辞任（5）
				選択	ワークショップデザイン演習	②	
				選択	創生インターンシップ	②	
				選択	観光プロジェクト演習Ⅰ	②	
				選択	観光プロジェクト演習Ⅱ	②	
				選択	観光プロジェクト演習Ⅲ	②	
				選択	観光プロジェクト演習Ⅳ	②	
				必修	観光デザイン学基礎	②	
				選択	地域社会学	②	
				選択	観光社会学	②	
				選択	融合試験	②	
2	教授	松田（白石）真希子	R5.3	選択	日本語 A 1 - 1	②	R5.3.31付け他大学着任のため辞任（5）
				選択	日本語 A 1 - 2	②	
				選択	日本語 A 2 - 1	②	
				選択	日本語 A 2 - 2	②	
				選択	日本語 A 3 - 1	②	
				選択	日本語 A 3 - 2	②	
				選択	日本語 A 4 - 1	②	
				選択	日本語 A 4 - 2	②	
				必修	アカデミックスキル	①	
				必修	プレゼン・ディベート論	①	
				選択	観光プロジェクト演習Ⅰ	①	
				選択	観光プロジェクト演習Ⅱ	①	
				選択	観光プロジェクト演習Ⅲ	①	
				選択	観光プロジェクト演習Ⅳ	①	
				必修	観光デザイン学基礎	①	
				選択	日本の工芸とデザイン	②	
				選択	グローバルブランディング論	②	
選択	Web・クテコミ社会動向分析	②					
選択	国際メディア分析論	②					
選択	国際コンフリクト・マネジメント	②					
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)	
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
2	人	必修	5	科目	必修	3	科目
		選択	26	科目	選択	4	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	31	科目	計	7	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|



(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
2	人	必修	5 科目	必修	3 科目	必修	2 科目	必修	0 科目		
		選択	26 科目	選択	4 科目	選択	22 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	31 科目	計	7 科目	計	24 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)\text{合計(D)+(F)}}{(2)-(2)\text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{17} = \boxed{11.76} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( ) 書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

辞任した専任教員の担当科目は、令和5年度は専任教員又は兼担教員が授業担当することとしており、学生に不利益はない。後任の授業担当教員名に授業科目のシラバスを修正し、大学のWebサイトで公開すると共に、授業時間割掲載により学生への周知を図っている。あわせて、後任教員の公募の手続きを進めており、計画どおりの教員組織の維持が可能と考えている。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

**【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

**【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

**【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<融合学域 観光デザイン学類>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">該当なし</div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 融合系教育研究会議教務・学生生活委員会。 関係規程「金沢大学融合研究域等管理運営規程」添付。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 委員は、融合研究域の専任教員5名及び学生課長。 開催は、1か月に約1回。</p> <p>c 委員会の審議事項等 融合学域に係る教育課程、授業計画、学生指導・支援、教育改善及びFDなどを審議する。</p> <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 融合学域観光デザイン学類教学FD</li> <li>a 実施内容 又埋融合教育、カリキュラム等について、観光デザイン学類関係教員が幅広く議論し、教育内容・方法の理解・向上を図る。</li> <li>b 実施方法 オンライン開催</li> <li>c 開催状況（教員の参加状況含む） 令和3年7月28日(水)開催、13名が参加</li> <li>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 文理融合教育、カリキュラム等の理解を深め、教育方法の向上に活かす。</li> <li>・ 全学FD研修会「新任教員説明会&lt;教育・学生編&gt;」</li> <li>a 実施内容 本学ポータルサイト及び教務システムの活用、学生指導と支援、学生の心のケア及び学生相談他</li> <li>b 実施方法 対面による講義、質疑応答</li> <li>c 開催状況（教員の参加状況含む） 令和4年4月4日(月) 10:00-11:55 参加教員数：45名</li> <li>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 各教員が自身の授業や学生指導に活かす。</li> </ul>
--

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

クォーター毎に実施する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学期毎に集計の上、本学Webサイトにて教職員及び学生に公開する。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 施設整備，教員配置，カリキュラム設計など，設置計画どおりに達成している。</p> <p>② 自己点検・評価報告書 学内規程に基づき，定期的に，全学的な自己点検評価及び部局の自己点検評価を実施することとしている。</p> <p>a 公表（予定）時期 ・自己点検を令和5年末までに公表予定</p> <p>b 公表方法 ・大学Webサイト上に公開</p> <p>③ 認証評価を受ける計画 ・令和3年度に，評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審し，適合の認定を受けた。</p>
---

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ]</p> <p>《 a で「有」の場合 》</p> <p>b 公表（予定）時期 [ <u>調査結果公表後1ヶ月以内</u> ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]</p> <p>c 公表方法 [ <u>ウェブサイトへの掲載</u> ・ その他 ( ) ]</p> <p>《 a で公表「無」の場合 》</p> <p>d 公表しない理由 [ ]</p>
--

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。